



中北英一 教授

中北 英一 教授 略歴

(学歴・職歴)

昭和	34年	11月	15日	大阪府大阪市に生まれる
	58年	3月		京都大学工学部土木工学科卒業
	60年	3月		京都大学大学院工学研究科土木工学専攻修士課程修了
		9月	31日	京都大学大学院工学研究科土木工学専攻博士課程中途退学
		10月	1日	京都大学助手 (防災研究所)
平成	2年	11月		京都大学工学博士
	3年	1月	1日	京都大学助教授 (防災研究所)
	4年	1月		米国アイオワ大学訪問助教授 (文部省在外研究員 (若手)) (同年11月まで)
	12年	4月	1日	京都大学助教授 (工学研究科環境地球工学専攻)
	16年	10月	1日	京都大学教授 (防災研究所)
	27年	4月	1日	京都大学 防災研究所 副所長 (平成29年3月31日まで)
令和	3年	4月	1日	同 所長 (令和6年3月31日まで)
		4月	1日	京都大学 経営協議会 委員 (令和4年9月30日まで)
	4年	4月	1日	京都大学大学 副理事 (宇治・隔地キャンパス担当) (令和7年3月31日まで)
	6年	7月	1日	京都大学 防災研究所 気候変動適応研究センター センター長 (令和7年3月31日まで)
	7年	3月	31日	京都大学 退職
		4月	1日	京都大学 総長特別補佐 名誉教授
		4月	1日	一般財団法人 日本気象協会 顧問

(受賞)

平成	5年	3月		土木学会 水理委員会 水工学論文奨励賞
	20年	1月		土木学会 関西支部 功労賞
	24年	9月		水文・水資源学会 学術賞
	28年	5月		日本気象学会 岸保賞
	30年	11月		土木学会 水工学委員会 水工学論文賞
令和	元年	6月		土木学会 研究業績賞
	元年	11月		土木学会水工学委員会 水工学論文賞

(学会 (抜粋))

平成	11年	度		土木学会水工学委員会 水文部会長 (平成12年度まで)
	17年	6月		実践水文システム研究会 理事
	18年	8月		水文・水資源学会 総務委員長 (平成20年8月まで)
		8月		水文・水資源学会 理事 (10~12期) (平成24年8月まで)
	27年	度		土木学会 水工学委員会 委員長 (平成28年度まで)

	30年	度	土木学会 水工学委員会 顧問
令和	2年	度	土木学会 水工学委員会 河川懇談会 座長
	6年	度	日本工学会 フェロー
			(委員(抜粋))
平成	元年	度	建設省 近畿建設局(国土交通省 近畿地方整備局) 深山レーダー雨量計システム 応用化研究会 委員 (平成21年度まで)
	22年	度	同 委員長 (平成23年まで)
	13年	度	石川県 犀川水系河川整備検討委員会河川計画専門部会 委員 (単年度)
	16年	度	福井県 足羽川洪水災害調査対策検討会 委員 (単年度)
	17年	度	滋賀県 面源負荷削除対策検討会 委員 (単年度)
	18年	度	国立研究法人 防災科学技術研究所 客員研究員 (平成19年度まで) 国土交通省 近畿地方整備局 水文観測委員会 委員 (平成30年度前期まで)
	30年(後期)		同 委員長 (令和6年度後期まで)
	18年	12月	国土交通省 九州地方整備局 九州北部レーダ精度解析検討会 座長 (平成22年3 月まで)
	19年	度	国土交通省 社会資本整備審議会 河川分科会 気候変動に適応した治水対策検討小 委員会 専門委員 (~平成27年度)
	20年	6月	河川情報センター(国土交通省) 河川管理におけるレーダー活用検討会 委員
	27年	6月	同 座長代理
令和	7年	6月	同 座長
平成	20年	12月	同 Xバンドレーダー分科会 座長 (平成27年6月まで)
	18年	12月	国土交通省 九州地方整備局 九州北部レーダ精度解析検討会 座長 (平成22年3 月まで)
	19年	1月	国立シンガポール大学(National University of Singapore) 熱帯海洋科学研究所 (Tropical Marine Science Institute) 客員研究教授(Visiting Research Professor) (平成20年3月まで)
	21年	8月	国土交通省 河川技術評価委員会 地域課題評価分科会 委員
	22年	1月	国土交通省 近畿地方整備局 地球温暖化に伴う大規模水害対策検討会 委員(平成 23年3月まで)
		5月	山口県 局地的な集中豪雨に対応した治水対策検討委員会 委員 (平成23年8月ま で)
	23年	3月	独立研究法人 防災科学技術研究所 気候変動に伴う極端気象に強い都市創りに関す る運営委員会 委員 (平成28年3月まで)
		6月	損害保険料率算出機構 災害科学研究会 風水害部会 委員 (平成25年3月まで)
		9月	電源開発株式会社 新宮川ダム操作技術検討会 委員
		10月	気象庁 静止衛星データ利用技術懇談会 委員(平成31年3月まで)
	24年	7月	名古屋大学 地球水循環研究センター 外部評価委員 委員長 (平成25年3月まで)
	25年	6月	損害保険料率算出機構 災害科学研究会 風水害部会 主査(平成28年3月31まで, 2018年5月~2025年3月) 同 災害科学研究会 委員長 (令和3年6月~2025年3月)
	24年	7月	奈良県 地域防災計画検討委員会懇談会 委員 (平成25年3月まで)
	25年	8月	環境省 中央環境審議会 地球環境部会 気候変動影響評価等小委員会 専門委員
		9月	茨城大学 地球変動適応科学研究機関(ICAS) 外部評価委員 (平成26年3月まで)

	2月	国土交通省 近畿地方整備局 レーダ雨量計技術応用研究委員会 委員長 (令和7年年3月まで)
27年	4月	国土交通省 社会資本整備審議会 河川分科会 臨時委員 (令和3年2月まで)
	4月	大野市 防災アドバイザー
	5月	鉄道総合技術研究所 リサーチアドバイザー (平成30年3月まで)
	7月	宇宙航空研究開発機構(JAXA) 地球観測研究センター PMM利用検討委員会 委員 (令和2年9月まで)
	11月	文部科学省 研究開発局 今後の気候変動研究の在り方に関する検討会 委員 (平成29年年3月まで)
28年	2月	国土交通省 社会資本整備審議会 河川分科会 河川整備基本方針検討小委員会 臨時委員 (令和3年2月まで)
	7月	和歌山県 避難対策ワークショップ運営の手引き検討会 委員 (同年11月まで)
30年	2月	大阪府 河川整備審議会 高潮専門部会 部会長 (平成31年12月まで)
	4月	国土交通省 気候変動を踏まえた治水計画に係わる技術検討会 委員 (令和2年7月まで)
	6月	気象庁・文部科学省 気候変動に関する懇談会 委員
	8月	国土交通省 社会資本整備審議会 河川分科会 大規模広域豪雨を踏まえた水災害対策検討小委員会 臨時委員 (令和元年7月まで)
	10月	国土交通省 中部地方整備局 中部地方水供給リスク管理検討会 委員 (令和5年11月まで)
31年	1月	国土交通省 近畿地方整備局 淀川水系検証委員会 (令和元年7月まで)
	12月	環境省 近畿地方環境事務所 気候変動適応近畿広域協議会 委員
令和	2年	同 座長
平成	31年	3月 京都府・京都市 京都気候変動適応策の在り方研究会 委員長 (令和元年9月まで)
令和	元年	5月 文部科学省 科学技術・学術審議会 研究計画・評価分科会 地球観測推進部会 臨時委員
	7月	国土交通省 北海道開発局 北海道地方における気候変動を踏まえた治水対策技術検討会 委員 (令和2年7月まで)
	8月	大阪府 河川構造物等審議会 会長 (令和3年2月まで)
	8月	京都府 淀川水系の河川整備に関する京都府技術検討会 委員長 (令和3年5月まで)
	9月	農林水産省 農村振興局 農業農村整備における気候変動対策に関する研究会 専門委員
	10月	国土交通省 社会資本整備審議会 河川分科会 気候変動を踏まえた水災害対策検討小委員会 臨時委員 (令和2年7月まで)
	10月	国土交通省 社会資本整備審議会 河川分科会 土砂災害防止対策小委員会 臨時委員 (令和3年2月まで)
	12月	国土交通省 気候変動を踏まえた砂防技術検討会 委員
	12月	国土交通省 気候変動を踏まえた都市浸水対策に関する検討会 委員 (令和2年7月まで)
2年	9月	宇宙航空研究開発機構(JAXA) 地球観測研究センター 地球観測に関する科学アドバイザー委員会 PMM分科会 委員
3年	2月	国土交通省 社会資本整備審議会 委員
		同 河川分科会 委員
		同 河川整備基本方針検討小委員会 委員
		同 土砂災害防止対策小委員会
		同 交通政策審議会 臨時委員
		同 環境部会 部会長代理

4月		文部科学省 科学技術・学術審議会 研究計画・評価分科会 防災科学技術委員会 臨時委員 (令和7年2月まで)
		同 環境エネルギー科学技術委員会 臨時委員 (令和7年2月まで)
		九州大学 応用力学研究所 運営協議委員会 委員 (令和6年3月まで)
6月		JR東日本(日本鉄道施設協会) 鉄道防災検討委員会 委員
7月		内閣府 防災・減災分野における研究開発課題に係る有識者検討会 委員 (令和4年3月まで)
9月		国立環境研究所 国立研究開発法人 国立環境研究所 外部研究評価委員会 委員
7年	9月	同 副委員長
4年	6月	文部科学省 技術参与 (環境エネルギー科学技術研究担当) (令和7年6月まで)
7年	6月	同 アドバイザー
4年	6月	公益財団法人 ひょうご震災記念21世紀研究機構 人と防災未来センター 事業評価委員会 委員 (令和6年6月まで)
5年	6月	一般財団法人 河川情報センター 非常勤理事
	11月	大阪市 気候変動を踏まえた新たな浸水対策のあり方検討会 座長
5年	度	内閣府 防災研究の中長期的なビジョンの精緻化及び研究開発テーマの策定に係る有識者会議 委員
6年	4月	公益財団法人 ひょうご震災記念21世紀研究機構 人と防災未来センター 上級研究委員
	5月	(株)日本工営 流域水管理事業部 顧問
	7月	大阪府 河川審議会 治水部会 委員
	12月 18日	国土交通省 国土審議会 特別委員
7年	2月	文部科学省 科学技術・学術審議会 委員
		同 研究計画・評価分科会 委員
		同 地球観測推進部会 部会長
		同 防災科学技術委員会 委員
		同 環境科学委員会 委員
	3月	国土交通省 社会資本整備審議会 河川分科会 会長
		同 河川整備基本方針検討小委員会 委員長
		同 流域総合水管理のあり方検討小委員会 委員長 (令和7年7月まで)
		国土交通省 国土審議会 流域総合水管理のあり方検討部会 部会長 (令和7年7月まで)
7年	4月 1日	一般財団法人 河川情報センター 研究顧問
		国立研究法人 情報通信研究機構 R&D アドバイザー

中北 英一 教授 研究業績

論 文

- 1 椎葉充晴・高棹琢馬・中北英一：移流モデルによる短時間降雨予測の検討,土木学会水理講演会論文集, 第28巻, pp.349-354, 1984.
- 2 高棹琢馬・椎葉充晴・中北英一・張 昇平：KINEMATIC WAVE モデルの集中化,土木学会水理講演会論文集, 第29巻, pp.239-244, 1985.
- 3 中北英一・筒井雅行・池淵周一・高棹琢馬：降雨分布特性の気象力学的解析,土木学会水理講演会論文集, 第32巻, pp.13-18, 1988.
- 4 中北英一・椎葉充晴・池淵周一・高棹琢馬：三次元レーダー雨量計情報の可視化,土木学会論文集, 第393号/II-9, pp.161-169, 1988.
- 5 Nakakita, E., M. Shiiba, S. Ikebuchi, and T. Takasao: Advanced use into rainfall prediction of three-dimensionally scanning radar, Proc. of International Seminar on Water Resources Systems, Tomamu, Japan, pp.353-368, 1989.
- 6 中北英一・椎葉充晴・池淵周一・高棹琢馬：3次元レーダーを利用した降雨予測手法の開発,土木学会水工学論文集, 第34巻, pp.91-96, 1990.
- 7 Nakakita, E., M. Shiiba, S. Ikebuchi, and T. Takasao: Advanced use into rainfall prediction of three-dimensionally scanning radar, Stochastic Hydrology and Hydraulics, 4, pp.135-150, 1990.
- 8 Nakakita, E., M. Shiiba, S. Ikebuchi, and T. Takasao: Advanced use into rainfall prediction of three-dimensionally scanning radar, Hydrological Application of Weather Radar, Edited by I.C. Clukie and C. G. Collier, pp.391-401, Ellis Horwood, 1991.
- 9 中北英一・田中 実・椎葉充晴・池淵周一・高棹琢馬：3次元レーダーエコー強度情報を用いた水蒸気相変化量と大気3次元風速の同時推定手法,土木学会水工学論文集, 第36巻, pp.483-488, 1992. (水工学論文奨励賞受賞論文)
- 10 Oishi, S., E. Nakakita, and S. Ikebuchi: Local rainfall prediction knowledge based on three-dimensional wind field estimating method, Proc. of XXV Congress of IAHR, Vol.I, pp. 217-224, 1993.
- 11 Ikebuchi, S., E. Nakakita, K. Kakimi, and T. Adachi: Accuracy of space and time average estimation on precipitation by using satellite data, Proc. of International Symposium on HEIFE, pp.216-226, 1993.
- 12 Ikebuchi, S., E. Nakakita, K. Takara, M. Shiiba, and T. Takasao: A Review of related research on flood runoff forecasting, Proc. of Workshop on Observations/Forecasting of Meso-Scale Severe Weather and Technology of Reduction of Relevant Disasters, Japan Meteorological Agency, pp.205-216, 1993.
- 13 Yoshino, F., N. Onodera, K. Matsukura, K. Hukami, A. Yoo, and E. Nakakita: Rainfall observation by radar, Research and Practice of Hydraulic Engineering in Japan, Special Issues, No. SI-3, Hydrology, Journal of Hydrosience and Hydraulic Engineering, pp.1-25, 1993.
- 14 Yamada, Tadashi, Tika. Oki, Eiichi Nakakita, and Michiharu Shiiba : Rainfall mechanism and prediction, Research and Practice of Hydraulic Engineering in Japan, Special Issues, No. SI-3, Hydrology, Journal of Hydrosience and Hydraulic Engineering, pp.27-82, 1993.
- 15 中北英一・足立琢也・池淵周一：地表面水蒸気フラックスが降雨分布に与える影響に関する基礎的検討,土木学会水工学論文集, 第38巻, pp.25-32, 1994.
- 16 Takasao, Takuma, Michiharu Shiiba, and Eiichi Nakakita: A Real-time estimation of the accuracy of short-term rainfall prediction using radar, K.W. Hipel(ed.), Stochastic and Statistical Methods in Hydrology and Environmental Engineering, Vol.2, pp.339-351, 1994.
- 17 大石 哲・木谷有吾・中北英一・池淵周一：2次元積雲モデルを用いた降水過程における鉛直上昇流の影響に関する研究,土木学会水工学論文集, 第39巻, pp.255-260, 1995.
- 18 中北英一・杉本聡一郎・池淵周一・中村徹立・奥田昌弘・山路昭彦・高棹琢馬：3次元レーダーおよびGPVデータを用いた短時間降雨予測手法,土木学会水工学論文集, 第40巻, pp.303-308, 1996.
- 19 矢島 啓・池淵周一・中北英一：PMP推定のための豪雨ポテンシャルの地域評価,土木学会水工学論文集, 第40巻, pp.285-290, 1996.
- 20 中川勝広・中北英一・池淵周一・佐藤 亨・Baxter E. Vieux・高棹琢馬：降雨の3次元構造を考慮したレーダー雨量推定手法の構築,土木学会水工学論文集, 第40巻, pp.297-302, 1996.
- 21 藤野 毅・浅枝 隆・中北英一：市街地スケール都市気象モデルによる風・熱環境評価の検討,土木学会水

- 工学論文集, 第40巻, pp.231-236, 1996.
- 22 矢島 啓・辻 基宏・池淵周一・中北英一：積雲対流モデルを用いた短時間可能最大降水量（PMP）推定手法の検討, 水文・水資源学会誌, 第9巻, 第2号, pp.143-152, 1996.
 - 23 Nakakita, E., S. Ikebuchi, T. Nakamura, M. Kanmuri, M. Okuda, A. Yamaji and T. Takasao: Short-term rainfall prediction method using a volume scanning radar and GPV data from numerical weather prediction, *Journal of Geophysical Research*, Vol. 101, No. D21, pp.26181-26197, 1996.
 - 24 Nakagawa, K., E. Nakakita, S. Ikebuchi, T. Sato and, T. Takasao: Formulation of vertical profile of rain drop size distribution, *Proc. of Int. Conference on Water Resources & Environmental Research: Towards the 21st Century*, Kyoto, Vol.1, pp.651-658, 1996.
 - 25 Oishi, S., Y. Kitani, E. Nakakita, and S. Ikebuchi: Study on effects of updraft on precipitation processes using two-dimensional cumulus model, *Journal of Hydrosience and Hydraulic Engineering*, Vol.14, No.2, pp.81-88, 1996.
 - 26 中川勝広・中北英一・佐藤 亨・池淵周一：降雨タイプに依存した雨滴粒径分布パラメータとその鉛直分布, 土木学会水工学論文集, 第41巻, pp.141-146, 1997.
 - 27 辻 基宏・大石 哲・中北英一・池淵周一：雨滴生成量を考慮した短時間PMP推定に関する一考察, 水工学論文集, 第41巻, pp.135-140, 1997.
 - 28 Nakakita, Eiichi., Shuichi Ikebuchi, Katsuhiko Nakagawa, Toru Sato, Baxter. E. Vieux, and Takuma Takasao: Utilization of vertical profile of DSD into building up an algorithm for estimating ground rainfall amount using radar, *Weather Radar Technology for Water Resources Management*. (eds B. Braga and O. Massambani), UNESCO Press, Montevideo, pp.307-320, 1997.
 - 29 中川勝広・中北英一・佐藤 亨・池淵周一：雨滴粒径分布の鉛直構造解析とレーダー雨量推定手法の構築, 土木学会水工学論文集, 第42巻, pp.7-12, 1998. (中川勝広：水工学論文奨励賞受賞論文)
 - 30 大石 哲・中北英一・池淵周一：GPSを用いた積雲スケールの水蒸気擾乱抽出手法に関する数値実験的研究, 土木学会水工学論文集, 第42巻, pp.13-18, 1998.
 - 31 田中賢治・中北英一・池淵周一：琵琶湖プロジェクトの陸面過程モデリング, 土木学会水工学論文集, 第42巻, pp.79-84, 1998.
 - 32 Nakakita, Eiichi., Shuichi Ikebuchi, Minoru Tanaka, Michiharu Shiiba, and Takuma Takasao: Estimation of three-dimensional wind velocity and conversion rate of water vapor using reflectivity detected by three-dimensionally scanning radar, *Advanced in Hydrological Application of Weather Radar (Proc. of 2nd Int. Symp. on Hydrological Applications of Weather Radar, Hannover, Germany, 1992, eds G. Shepherd and H. -R. Verworn)*, pp.222-232, 1998.
 - 33 Nakakita, Eiichi, Shuichi. Ikebuchi, Noriyasu Sawada, Michiharu Shiiba, and Takuma Takasao: A short-term rainfall prediction method using reflectivity detected by three-dimensionally scanning radar, *Advanced in Hydrological Application of Weather Radar (Proc. of 2nd Int. Symp. on Hydrological Applications of Weather Radar, Hannover, Germany, 1992, eds G. Shepherd and H. -R. Verworn)*, pp.326-336, 1998.
 - 34 中北英一・鈴木善晴・池淵周一：降雨分布の地形依存特性における時間スケール階層構造, 土木学会水工学論文集, 第44巻, pp.91-96, 2000.
 - 35 中北英一・矢神卓也・池淵周一：1998那須集中豪雨の生起・伝播特性, 土木学会水工学論文集, 第44巻, pp.109-114, 2000.
 - 36 大石 哲・中北英一・池淵周一・島田誠：GPS大気遅延量のパワースペクトルを用いた小規模水蒸気擾乱の変動特性解析, 土木学会水工学論文集, 第44巻, pp.67-72, 2000.
 - 37 片岡幸毅・大東秀光・角田 恵・池淵周一・中北英一・大石 哲・藤田暁・高田望：山岳域の気象・降雨特性に関する実験的研究, 土木学会水工学論文集, 第44巻, pp.103-108, 2000.
 - 38 鈴木善晴・中北英一・池淵周一：標高依存直線に基づいた降雨分布の地形依存特性の解明, 土木学会水工学論文集, 第45巻, pp.301-306, 2001.
 - 39 Sugimoto, Soichiro, Eiichi Nakakita, and Shuichi Ikebuchi: A stochastic approach to short-term rainfall prediction using a physically based conceptual rainfall model, *Journal of Hydrology*, 242, pp. 137-155, 2001.
 - 40 Nakakita, Eiichi, Yoshiharu Suzuki, and Shuichi Ikebuchi: Hierarchical time-scale structure in the dependence of rainfall distribution on topography, *Journal of Hydrosience and Hydraulic Engineering*, Vol.19, No.2, pp.1-10, 2001.
 - 41 Higuchi, A., K. Nishida, A. Kondoh, K. Tanaka, N. Ebisu, S. Iida, and E. Nakakita: A Simple and cheap method to monitor the surface status for the validation of optical satellite remote sensing. *Proc. The Fifth International Study Conference on GEWEX in Asia and GAME*, Aichi Trade Center, Nagoya, Japan, Vol. 1, pp.223-228, 2001.
 - 42 鈴木善晴, 諸橋真琴, 中北英一, 池淵周一：3次元構造および降雨タイプを考慮した降雨分布の地形依存特性の解析, 土木学会水工学論文集, 第46巻, pp.13-18, 2002.
 - 43 中北英一・沖村俊郎・鈴木善晴・池淵周一：降雨の標高依存特性を導入したTRMM/PRによる時間・空間平均降雨量の推定, 土木学会水工学論文集, 第46巻, pp.25-30, 2002.
 - 44 中川勝広・中北英一・鈴木善晴・大石 哲・池淵周一：TRMM/PRを用いた山岳域における地上降雨量分布の推定, 土木学会水工学論文集, 第46巻, pp.31-36, 2002.
 - 45 Suzuki, Yoshiharu, Eiichi Nakakita, and Shuichi Ikebuchi : Study on the dependence properties of rainfall

- distributions on topographic elevations, *Journal of Hydroscience and Hydraulic Engineering*, Vol.20, No.1, 2002.
- 46 鈴木善晴・宮田昇平・中北英一・池淵周一：メソ気象モデルによる数値シミュレーションに基づいた降雨－地形関係の解析, *土木学会水工学論文集*, 第47巻, pp.73-78, 2003.
 - 47 Suzuki, Yoshiharu, Eiichi Nakakita, and Shuichi Ikebuchi, Numerical study of rainfall-topography relationships on mountainous region in Japan using a mesoscale meteorological model, *Weather Radar Information and Distributed Hydrological Modelling*, IAHS Publications No. 282, Eds. by Y. Tachikawa, B. E. Viueux, K. P. Georgakakos and E. Nakakita, 2003.
 - 48 中北英一・前田妙子：流域スケールに依存した分布型降雨情報の有効性に関する基礎的検討, *土木学会水工学論文集*, 第48巻, pp.307-312, 2004.
 - 49 鈴木善晴・宮田昇平・中北英一・池淵周一：山岳域における降雨－地形関係のメカニズムに関する数値実験的な研究, *土木学会水工学論文集*, 第48巻, pp.289-294, 2004.
 - 50 相馬一義・田中賢治・中北英一・池淵周一：非静力学気象モデルへの詳細な陸面過程モデルの導入, *土木学会水工学論文集*, 第48巻, pp.127-132, 2004.
 - 51 中北英一：都市河川が対象とする降雨現象, *河川技術論文集*, 第10巻, pp.19-24, 2004.
 - 52 玉川一郎・石田祐宣・松島大・小野圭介・林泰一・田中広樹・岩田徹・中北英一・田中賢治・樋口篤志・浅沼順・多田毅・石川裕彦・檜山哲哉・田中健路：CAPS観測グループ, 琵琶湖プロジェクト2002年フラックス面的集中観測 (Catch A Plume by SATs: CAPS) : その概要, 研究ノート, *水文・水資源学会誌*, 第17巻4号, pp.392-400, 2004.
 - 53 相馬一義・田中賢治・中北英一・池淵周一：琵琶湖周辺の対流性降水に地表面状態及び局地循環が与える影響の検討, *土木学会水工学論文集*, 第49巻, pp.259-264, 2005.
 - 54 鈴木善晴・鎌田雅憲・宮田昇平・中北英一・長谷部正彦・池淵周一：降雨-地形関係の時空間変動特性を考慮した山岳域における降雨分布特性の解析, *土木学会水工学論文集*, 第49巻, pp.265-270, 2005.
 - 55 中北英一・岡根俊介：人工衛星による低頻度観測情報から直接算定される地点月降雨量分散値の補正手法, *土木学会水工学論文集*, 第50巻, pp 199-204, 2006.
 - 56 中北英一・義本欣司：時間・空間スケールを考慮した異常降雨のグローバル解析に関する基礎的研究, *土木学会水工学論文集*, 第50巻, pp 607-612, 2006.
 - 57 相馬一義・田中賢治・中北英一・池淵周一：夏季の山地域における対流性降水土壌水分量の違いが与える影響, *土木学会水工学論文集*, 第50巻, pp 517-522, 2006.
 - 58 中北英一・竹畑栄伸・中川勝広：最新型Cバンド偏波レーダを用いた降雨量推定精度の検証, *土木学会水工学論文集*, 第51巻, pp 325-330, 2007.
 - 59 中北英一・足立 充・北井 剛：地形性降雨を導入したレーダー及びGPV情報を用いた台風性降雨予測手法の開発, *土木学会水工学論文集*, 第51巻, pp 337-342, 2007.
 - 60 Nakakita, Eiichi, Yukihisa Sato, and Kensuke Takenouchi, 4DDA of radar echo and Doppler velocity by an atmospheric model with a conceptual precipitation Model, *Annual Journal of Hydraulic Engineering, JSCE*, Vol.51, pp 103-108, 2007.
 - 61 鈴木博人・中北英一：鉄道と気象庁の降水量データを用いた大雨の標高依存性の解析, *土木学会水工学論文集*, 第51巻, pp 283-288, 2007.
 - 62 Nakakita, Eiichi, Shunsuke Okane, and Lisako Konoshima, Method of correcting variance of point monthly rainfall directly estimated using low frequent observations from space, *Advances in Geosciences 2006*, Vol. 6, Hydrological Science, World Scientific Publishing Company Pte. Ltd, pp 35-45, 2007.
 - 63 Suzuki, Y, S. Miyata, E. Nakakita, and M. Hasebe: Numerical approach on the mechanism of precipitation-topography relationship in mountainous complex terrain, *Proc. of International Congress on Modelling and Simulation 2007 (MODSIM07)*, pp.2131-2137, Dec. 2007.
 - 64 中北英一・寺園正彦：地形性降雨の非地形性降雨に対する非線形効果を考慮した短時間降雨予測手法, *土木学会水工学論文集*, 第52巻, pp 331-336, 2008.
 - 65 中北英一・竹畑栄伸・中川勝広：Cバンド偏波レーダーによる降雨量推定アルゴリズムの構築に関する研究, *土木学会水工学論文集*, 第52巻, pp 349-354, 2008.
 - 66 山口弘誠・中北英一：アンサンブルカルマンフィルタを用いたドップラーレーダー情報の4次元同化設計, *土木学会水工学論文集*, 第52巻, pp 343-348, 2008.
 - 67 鈴木博人・中北英一：降雨の空間代表性－鉄道と気象庁の降水量データを用いた解析－, *土木学会水工学論文集*, 第52巻, pp 187-192, 2008.
 - 68 Souma, Kazuyoshi, Kenji Tanaka, Eiichi Nakakita Shuichi Ikebuchi, and Kaoru Takara, Effect of the LDAS Derived Realistic Distribution of Soil Moisture on a Summertime Heat Thunderstorm Prediction in Japan, *Proc. of 4th Intl. Conf. on Water Resources and Environment Research*, pp.2339-2349, Australia, 2008.
 - 69 Nakakita, Eiichi and Lisako Konoshima, Estimating global distribution of spatial and temporal correlation length of point rainfall intensity using low frequent observations from space, *Advances in Geosciences 2007*, Vol. 11, World Scientific Publishing Company Pte. Ltd, pp. -, 2008.
 - 70 中北英一・木島梨沙子：衛星観測を用いた瞬時降雨量の時間相関長さの全球分布推定, *土木学会水工学論*

- 文集, 第53巻, pp.217-222, 2009.
- 71 中北英一・杉谷祐二: 斜面・河道発達過程の数理モデルを導入した模擬流域発生手法の開発, 土木学会水工学論文集, 第53巻, pp.439-444, 2009.
 - 72 中北英一・山口弘誠・隅田康彦・竹畑栄伸・鈴木賢士・中川勝広・大石哲・出世ゆかり・坪木和久・大東忠保: 偏波レーダーとビデオゾンデの同期観測および降水粒子タイプ判別, 土木学会水工学論文集, 第53巻, pp.361-366, 2009.
 - 73 山口弘誠・中北英一: 偏波レーダーCOBRAを用いた降水粒子種類の同化手法の提案, 土木学会水工学論文集, 第53巻, pp.355-360, 2009.
 - 74 萬和明・田中賢治・中北英一: 水収支に基づく土壌水分推定値の精度評価, 土木学会水工学論文集, 第53巻, pp.403-408, 2009.
 - 75 鈴木博人・中北英一・高橋日出男: 雨量計の観測値を用いた降水量の空間代表性の解析, 土木学会水工学論文集, 第53巻, pp.391-396, 2009.
 - 76 Kim, Sunmin, Yasuto Tachikawa, Eiichi Nakakita, and Kaoru Takara, Reconsideration of Reservoir operation under climate change: Case study with Yagisawa dam, Annual Journal of Hydraulic Engineering, JSCE, Vol.53, pp.120-125, 2009.
 - 77 Takara, Kaoru, Sunmin Kim, Yasuto Tachikawa, and Eiichi Nakakita, Assessing climate change impact on water resources in the Tone River basin, Japan, using super-high-resolution atmospheric model output, Journal of Disaster Research, Vol.4, No.1, pp12-23, 2009.
 - 78 Souma, Kazuyoshi, Kenji Tanaka, Eiichi Nakakita, Shuichi Ikebuchi, and Kaoru Takara, The effect of soil moisture on a summer time convective rainfall in central Japan, Monthly Weather Review, 2009.
 - 79 Delrieu, Guy, Isabelle Braud, Alexis Berne, Marco Borga, Brice Boudevillain, Frédéric Fabry, Jim Freer, Eric Gaume, Eiichi Nakakita, Alan Seed, Pierre Tabary, and Remko Uijlenhoet, Preface, Weather radar and hydrology, Advances in Water Resources,32, pp.969-974, 2009.
 - 80 Kim, Sunmin, Eiichi Nakakita, Yasuto Tachikawa, and Kaoru Takara, Precipitation changes in Japan under the A1B climate change scenario, Annual Journal of Hydraulic Engineering, JSCE, Vol.54, pp.127-132, 2010.
 - 81 木島梨沙子・中北英一: 全球気候モデルを用いた異常降雨とそのアジアモンスーン域における将来変化の解析, 土木学会水工学論文集, 第54巻, pp.217-222, 2010.
 - 82 小林健一郎・寶馨・中北英一: 全球気候モデル出力を用いた日本域の100年確率日降水量の将来予測, 土木学会水工学論文集, 第54巻, pp.223-228, 2010.
 - 83 城戸由能・福田勝之・中北英一: 自動水質計を用いた雨天時を含む河川水質濃度の推定と負荷量算定評価, 土木学会水工学論文集, 第54巻, pp.1387-1392, 2010.
 - 84 鈴木博人・中北英一: 山間部の鉄道沿線における大雨の標高依存性, 土木学会水工学論文集, 第54巻, pp.337-342, 2010.
 - 85 中北英一・山邊洋之・山口弘誠: ゲリラ豪雨の早期探知に関する研究, 土木学会水工学論文集, 第54巻, pp.343-348, 2010.
 - 86 小林健一郎・寶馨・中北英一: 全球気候モデル出力と洪水及び経済被害推定モデルを用いた中小河川の水害リスクの将来変動に関する研究, 土木学会河川技術論文集, 第16巻, pp. 495-500, 2010
 - 87 Kim, Sunmin, Yasuto Tachikawa, Eiichi Nakakita, and Kaoru Takara, Hydrologic Evaluation on the AGCM20 Output Using Observed River Discharge Data, Hydrological Research Letters, Vol.4, pp.35-39, 2010.
 - 88 Yamashiki, Yosuke, Masato Kato, Kaoru Takara, Eiichi Nakakita, Michio Kumagai, and Chunmeng Jiao, Sensitivity Analysis on Lake Biwa under the A1B SRES climate change scenario using Biwa-3D Integrated Assessment Model:part I -projection of lake temperature-, Hydrological Research Letters, Vol.4, pp.45-49, 2010.
 - 89 Kimura, Makoto, Yoshinobu Kido, and Eiichi Nakakita, Development of real-time flood forecasting method in urban drainage areas, Proc. of 9th International Conference on Hydroinformatics, HIC 2010, Tianjin, CHINA, pp.1802-1810, 2010.
 - 90 中北英一・吉開朋弘・キム スンミン: 地形性降雨を考慮したレーダー短時間降雨予測へのエラーアンサンブルの導入, 土木学会水工学論文集, 第55巻, pp.S_619-S_624, 2011.
 - 91 Kim, Sunmin, Yasuto Tachikawa, Eiichi Nakakita, Kazuaki Yorozu, and Michiharu Shiiba, Climate change impact on river flow of the Tone River Basin, Japan, Annual Journal of Hydraulic Engineering, JSCE, Vol.55, pp.S_85-S_90, 2011.
 - 92 Ratih Indri Hapsari, Satoru Oishi, Kengo Sunada, Eiichi Nakakita, and Tetsuya Sano, Singular vector method on short-term rainfall prediction using radar for hydrologic ensemble prediction, Annual Journal of Hydraulic Engineering, JSCE, Vol.55, pp.S_109-S_114, 2011.
 - 93 鈴木博人・中北英一・高橋日出男: 鉄道における雨量計の配置間隔に関する考察, 土木学会水工学論文集, 第55巻, pp.S_271-S_276, 2011.
 - 94 木村 誠・城戸由能・中北英一, 都市内水域における局所集中豪雨に対応したリアルタイム浸水予測手法に関する基礎的検討, 土木学会水工学論文集, 第55巻, pp.S_931-S_936, 2011.
 - 95 木村 誠・城戸由能・中北英一, 都市河川内水域における短時間局地的豪雨に対応した瞬時浸水予測手法

- の開発, 河川技術論文集, 第17巻, 6pp., 2011.
- 96 小林健一郎・寶馨・中北英一, 全球気候モデル出力と洪水及び経済被害推定モデルを用いた中小河川の水害リスクの将来変動に関する研究, 河川技術論文集 第17巻. pp.495-500, 2011.
- 97 Sato, Yoshinobu., Toshiharu. Kojiri, Yuri. Michihiro, Yasushi. Suzuki, and Eiichi. Nakakita, Analysis of Extreme Hydrological Events in Major River Basins in Japan under Climate Change, Proc. of the 34th Congress of the IAHR, pp.710-717, 2011.
- 98 Suzuki, Kenji, Kensaku Shimizu, Tadayasu Ohigashi, Kazuhisa Tsuboki, Satoru Oishi, Seiji Kawamura, Katsuhiko Nakagawa, Kosei Yamaguchi, and Eiichi Nakakita, Development of a New Videosonde Observation System for In-situ Precipitation Particle Measurements, SOLA, 2012, Vol. 8, pp.001-004, doi:10.2151/sola.2012-001, 2012.
- 99 中北英一・宮宅敏哉・Kyoungjun KIM・木島梨沙子: 気候変動に伴う梅雨期の集中豪雨の将来変化に関する領域気候モデルを用いた基礎的研究, 土木学会論文集, B1 (水工学), 第68巻, No.4, pp.427I-432, 2012.
- 100 バトル アブドレイム・栗津進吾・城戸由能・中北英一: 気候変動による京都盆地水系地下水環境への影響評価, 土木学会論文集, B1 (水工学), 第68巻, No.4, pp.577-582, 2012.
- 101 木村誠・城戸由能・中北英一: 都市内水域における局所集中豪雨に対応したリアルタイム浸水予測手法の簡素化, 土木学会論文集, B1 (水工学), 第68巻, No.4, pp.985-990, 2012.
- 102 鈴木博人・中北英一・高橋日出男: 鉄道における雨量計の設置間隔と列車運転規制基準値の設定方法に関する考察, 土木学会論文集, B1 (水工学), 第68巻, No.4, pp.985-990, 2012.
- 103 越田智喜・武中英好・中北英一・真木雅之・中川勝広・深見和彦: 現業CバンドMPレーダにおける降雨推定精度, 土木学会論文集, B1 (水工学), 第68巻, No.4, pp.361-366, 2012.
- 104 山口弘誠・金原知穂・中北英一: Xバンド偏波レーダを用いた雨滴粒径分布とその時空間構造及び降水量の推定手法の開発, 土木学会論文集, B1 (水工学), 第68巻, No.4, pp.367-372, 2012.
- 105 Nakakita, Eiichi, Tomohiro Yoshikai, and Sunmin Kim, Application of Error-Ensemble prediction method to a short-term rainfall prediction model considering orographic rainfall, Weather Radar and Hydrology (Proceedings of a symposium held in Exeter, UK, April 2011) (IAHS Publ., 351, 2012), pp.317-322, 2012.
- 106 Kimura, Makoto, Yoshinobu Kido, and Eiichi Nakakita, Study on real-time flood forecasting method for locally heavy rainfall with high-resolution X-band polarimetric radar information, Weather Radar and Hydrology (Proceedings of a symposium held in Exeter, UK, April 2011) (IAHS Publ. 351, 2012), pp.454-459, 2012.
- 107 Sato, Yoshinobu, Toshiharu Kojiri, Yuri Michihiro, Yasushi Suzuki, and Eiichi Nakakita, Estimates of Climate Change Impact on River Discharge in Japan Based on a Super-High-Resolution Climate Model, Terr. Atmos. Ocean. Sci., Vol. 23, No. 5, pp.527-540, October 2012.
- 108 鈴木博人・中北英一・高橋日出男: 離散的に配置された雨量計の大雨の捕捉性能に関する解析, 土木学会論文集, B1 (水工学), 第69巻, No.4, pp.295-300, 2013.
- 109 山口弘誠・中北英一・野中理伸: 9m2巨大雨量計の開発による地上雨量計の捕捉率の評価, 土木学会論文集, B1 (水工学), 第69巻, No.4, pp.307-312, 2013.
- 110 中北英一・西脇隆太・山邊洋之・山口弘誠: ドップラー風速を用いたゲリラ豪雨のタマゴの危険性予知に関する研究, 土木学会論文集, B1 (水工学), 第69巻, No.4, pp.325-330, 2013.
- 111 相馬一義・田中賢治・末次忠司・坪木和久・篠田太郎・榊原篤志・長谷川晃一・茂木耕作・中北英一: 現実的な地表面状態量初期値が2008年に東京都で発生した局地的大雨へ与える影響, 土木学会論文集, B1 (水工学), 第69巻, No.4, pp.343-348, 2013.
- 112 高田 望・田中裕介・池淵周一・中北英一: 局地的な大雨の予測精度向上を目指した降水ノウキャスト手法の開発, 土木学会論文集, B1 (水工学), 第69巻, No.4, pp.349-354, 2013.
- 113 松原隆之・笠原 覚・嶋田善多・中北英一・土田和稔・高田 望: 台風情報と全球数値予報モデル (GSM) によるダム運用の改善に関する基礎検討, 土木学会論文集, B1 (水工学), 第69巻, No.4, pp.367-372, 2013.
- 114 Souma, Kazuyoshi, Kenji Tanaka, Tadashi Suetsugi, Kengo Sunada, Eiichi Nakakita, Kaoru Takara, and Satoru Oishi: The effects of soil moisture on a summertime convective rainfall over mountainous area and its contiguous plain in central Japan, IAHS Publication, 2013.
- 115 Sato, Yoshinobu, Toshiharu Kojiri, Yuri Michihiro, Yasushi Suzuki, and Nakakita Eiichi, Assessment of climate change impacts on river discharge in Japan using the super-high-resolution MRI-AGCM. Hydrological Processes (Published online: DOI:10.1002/hyp.9828), 2013.
- 116 Sato, Yoshinobu, Motohiro Honma, Yasushi Suzuki, Kenji Tanaka, and Eiichi Nakakita, Assessment of climate change impact on river discharge in cold and mountainous region in Japan, Cold and Mountain Region Hydrological Systems Under Climate Change: Towards Improved Projections Proceedings of H02, IAHS-IAPSO-IASPEI Assembly, Gothenburg, Sweden, July 2013 (IAHS Publ. 360, pp.1-6, 2013).
- 117 坂井広正・田中耕司・中北英一・野稻誠・宮本哲明: レーダ雨量を用いたDAD解析と集中豪雨の発生頻度, 河川技術論文集, Vol.19, pp.301-306, 2013.6.
- 118 Yoon, Seongsim and Eiichi Nakakita, The development of rain-based urban flood forecasting method for river management practice using X-MP radar observation, Advances in River Engineering, JSCE, Vol.19, pp. 223-228, 2013, June.

- 119 Yu, Wansik, Eiichi Nakakita, and Kosei Yamaguchi, Assessment of probabilistic flood forecasting using ensemble NWP rainfall with 30hr forecast time during typhoon events, *Advances in River Engineering*, JSCE, Vol.19, pp. 235-240, 2013, June.
- 120 Tatsumi, Kenichi, Yosuke Yamashiki, Kaoru Takara, Eiichi Nakakita, Reproducibility of Crop Yield Simulated by iGAEZ Model with High-resolution GCM Output, *Journal of Agricultural Science and Applications (JASA)*, Vol. 2, Issue 2 Jun. 2013 PP. 124-130 DOI: 10.14511/jasa.2013.020211 © American V-King Scientific Publishing
- 121 Oku, Yuichiro and Eiichi Nakakita, Future change of the potential landslide disasters as evaluated from precipitation data simulated by MRI-AGCM3.1, *Hydrological Processes*, 27, pp.3332-3340, 2013.
- 122 Chaffe, P.L.B. K. Takara, Y. Yamashiki, Apip, P. Luo, R.V. Silva, and E. Nakakita, Mapping of Japanese areas susceptible to snow cover change, *Hydrological Sciences Journal*, DOI:10.1080/02626667.2013.839874, 2013, October.
- 123 Suzuki, Kenji, Midori Matsuo, Eri Nakano, Shunsuke Shigeto, Kosei Yamaguchi, and Eiichi Nakakita, Graupel in the different developing stages of Baiu monsoon clouds observed by vide sondes, *Atmospheric Research*, pp.100-110, Available online 7 October 2013.
- 124 Souma, Kazuyoshi, Kenji Tanaka, Tadashi Suetsugi, Kengo Sunada, Kazuhisa Tsuboki, Taro Shinoda, Yuqing Wang, Atsushi Sakakibara, Koichi Hasegawa, Qoosaku Moteki, and Eiichi Nakakita, A comparison between the effects of artificial land cover and anthropogenic heat on a localized heavy rain event in 2008 in Zoshigaya, Tokyo, Japan, *Journal of Geophysical Research, Atmosphere*, Vol.118, pp.11,600-11,610, doi:10.1002/jgrd.50850, 2013.
- 125 高田望・田中裕介・池淵周一・中北英一: 実時間の予測誤差分散と予測バイアスを利用した降雨予測モデル出力値合成手法の開発, *土木学会論文集*, B1 (水工学), 第70巻, No.4, pp.895-900, 2014.
- 126 Kim, Sunmin, Eiichi Nakakita, Yasuto Tachikawa, Michiharu Shiiba, and Masataka Inoue, Statistical Downscaling of precipitation with a formatted regression frame, *Journal of Japan Society of Civil Engineers*, B1 (Hydraulic Engineering), JSCE, Vol.70, No.4, pp.901-906, 2014.
- 127 小林健一郎・奥勇一郎・中北英一・中野満寿男・寶 馨: 伊勢湾台風疑似温暖化実験による淀川流域洪水評価, *土木学会論文集*, B1(水工学), 第70巻, No.4, pp.391-396, 2014.
- 128 Yu, Wansik, Eiichi Nakakita, Sunmin Kim, and Kosei Yamaguchi, Accuracy improvement of flood forecasting using pre-processing of ensemble numerical weather prediction rainfall fields, *Journal of Japan Society of Civil Engineers*, B1 (Hydraulic Engineering), JSCE, Vol.70, No.4, pp.151-156, 2014.
- 129 増田有俊・中北英一: Xバンド偏波レーダを用いた降水セルのライフステージ判別手法の開発, *土木学会論文集*, B1 (水工学), 第70巻, No.4, pp.493-498, 2014.
- 130 城戸由能・北側有輝・中北英一: GCM空間解像度を考慮した地下水環境への気候変動影響の統計確率的評価手法に関する研究 *土木学会論文集*, B1 (水工学), 第70巻, No.4, pp.1135-1140, 2014.
- 131 中北英一・西脇隆太・山口弘誠: ゲリラ豪雨の早期探知・予報システムの開発, *河川技術論文集*, Vol.20, pp.355-360, 2014.6.
- 132 高田望・田中裕介・池淵周一・中北英一: 降雨スケールの分離に基づいた短時間降雨予測手法の予測誤差推定手法に関する研究, *河川技術論文集*, Vol.20, pp.331-336, 2014.6.
- 133 中島秀明・田中耕司・中北英一・竹之内健介・矢守克也・養老伸介・羽生雅則: 中小河川群における内外氾濫過程を踏まえた地区別の避難判断・行動に関する研究, *河川技術論文集*, Vol.20, pp.425-430, 2014.6.
- 134 Yu, Tian-You, Ph. D; David B. Parsons; Eiichi Nakakita; Toshitaka Tsuda; Hirohiko Ishikawa, Mitigating the Impact of Severe Weather and Climate Variability through Innovative Sensing, Modeling, and Prediction, BAMS-D-14-00027, *Bulletin of the American Meteorological Society*, 2014.
- 135 田中耕司・中島秀明・中北英一・竹之内健介・矢守克也・養老伸介・羽生雅則: 市街地の変遷を踏まえた洪水氾濫リスク評価による防災計画, *歴史都市防災論文集*, Vol.8, pp.91-98, 2014.
- 136 竹之内健介・中島秀明・田中耕司・中北英一・矢守克也・養老伸介・羽生雅則: 中小河川群の氾濫解析と気象情報を利用した地域防災計画が想定する災害イメージの事前構築, *土木学会論文集F6 (安全問題)*, Vol.70, No.2, pp.I_37-I_44, 2014.
- 137 中北英一・草野晴香・KIM Sunmin, 梅雨期集中豪雨をもたらす大気場特性の気候変動に伴う出現頻度の将来変化予測, *土木学会論文集*, B1 (水工学), 第71巻, No.4, pp.373-378, 2015.3.
- 138 東 俊孝・矢神卓也・中北英一・古賀光彦, 走行速度を考慮した降雨強度推定手法の提案, *土木学会論文集*, B1 (水工学), 第71巻, No.4, pp.493-498.2015.3.
- 139 鈴木博人・大島竜二・中北英一・高橋日出男, 雨量計による大雨の捕捉性能の評価と雨量計の受持ち区間の見直し方法に関する研究, *土木学会論文集*, B1 (水工学), 第71巻, No.4, pp.1303-1308, 2015.3
- 140 城戸由能・佐藤 豪・中北英一, 都市雨水管理システムの実時間制御におけるXバンド偏波レーダによる降水予測情報の有効利用方策に関する研究, *土木学会論文集*, B1 (水工学), 第71巻, No.4, pp.1345-1350, 2015.3.
- 141 Oue, Mariko, Kazuhisa Tsuboki, and Eiichi Nakakita, Vertical distribution of precipitation particles in Baiu frontal stratiform intense rainfall around Okinawa Island, Japan, *Journal of Geophysical Research – Atmospheres*, 120, pp.5622-5637, doi:10.1002/2014JD022712, 2015.

- 142 Yu, Wansik, Eiichi Nakakita, Sunmin Kim, and Kosei Yamaguchi, Improvement of rainfall and flood forecasts by blending ensemble NWP rainfall with radar prediction considering orographic rainfall, *Journal of Hydrology*, Vol.531, pp.494-507, doi:10.1061/jhydro.2015.04.055, 2015.
- 143 片山勝之・山路昭彦・中村文彦・森田宏・中北英一：局地的豪雨探知システムの開発，*河川技術論文集*，Vol.21, pp.401-406, 2015.6.
- 144 松本幸大・折池雄太・鈴木久紀・竹見哲也・中北英一：台風時の降雨量推定手法に関する研究，*河川技術論文集*，Vol.21, pp.419-424, 2015.6.
- 145 田中耕司・金淵中・中島秀明・中北英一・養老伸介・羽生雅則：豪雨による洪水・土石流の発生を想定したマルチ・ハザードと非難判断基準に関する研究，*河川技術論文集*，Vol.21, pp.485-490, 2015.6.
- 146 Yoon, Seongsim and Eiichi Nakakita, Application of an X-Band Multi-Parameter Radar Network for Rain-Based Urban Flood Forecasting, *Journal of Hydrologic Engineering*, ASCE, 2015.
- 147 Yu, Wansik, Eiichi Nakakita, Sunmin Kim, and Kosei Yamaguchi, Assessment of Uncertainty Propagation of Ensemble NWP Rainfall to Flood Forecasting with Catchment Scale, *Advances in Meteorology*, 2015.
- 148 Ogawa, Mariko, Satoru Oishi, Kosei Yamaguchi, and Eiichi Nakakita, Quantitative Parametric Approach to Estimating Snowflake Size Distributions Using an Optical Sensing Disdrometer, *SOLA*, Vo.11, pp.134-137, doi:10.2151/sola.2015-031,2015.
- 149 Touge, Toshiya, Kenji Tanaka Temur KHUJANAZAROV, Kristina TODERICH, Osamu KOZAN and Eiichi NAKAKITA, Developing aWater Circulation Model in the Aral Sea Basin Based on in situ Measurements on Irrigated Farm, *Journal of Arid Land Studies*, Vol.25, No.3, pp.133-136, 2016.
- 150 Suzuki, Kenji, Natsumi Munechika, Katsuhiko Nakagawa, Kosei Yamaguchi, and Eiichi Nakakita, Simultaneous measurements of a stratiform cloud by multipoint videosonde launchings, *SOLA* 12(1), pp.12-16, 2016.
- 151 増田有俊・中北英一，Xバンド偏波レーダを用いた発達する降水セルの検出に関する研究，*土木学会論文集*，B1(水工学)，第72巻，No.4, pp.193-198, 2016.3
- 152 中北英一・佐藤悠人・山口弘誠，ゲリラ豪雨のタマゴ生成時における渦管構造の基礎的解析，*土木学会論文集*，B1(水工学)，第72巻，No.4, pp.199-204, 2016.3
- 153 山口弘誠・高見和弥・井上 実・中北英一，豪雨の「種」を捉えるための都市効果を考慮するLES気象モデルの開発，*土木学会論文集*，B1(水工学)，第72巻，No.4, pp.205-210, 2016.3.
- 154 松原隆之・梶 啓介・池口幸宏・中北英一・土田和稔，気象庁降雨予測（GSM）と台風情報を活用した発電専用ダムの運用高度化手法の実証，*土木学会論文集*，B1(水工学)，第72巻，No.4, pp.1195-1200, 2016.3.
- 155 Yu, Wansik, Eiichi Nakakita, Sunmin Kim, Kosei Yamaguchi, Improving the accuracy of flood forecasting with transpositions of ensemble NWP rainfall fields considering orographic effects, *Journal of Hydrology*, 2016 (in printing).
- 156 竹之内健介・中北英一・矢守克也・田中耕司・養老伸介，河川・気象情報の住民による主体的な利用を目指した地域情報としての活用手法の提案，*河川技術論文集*，Vol.21, 2016.
- 157 Yoon, Seongsim, Eiichi Nakakita, Ryuta Nishiwaki, and Hiroto Sato, Research on the radar-based risk prediction of sudden downpower in urban area: a case study of metropolitan area, *Journal of Korea Water Resources Association*, Vol.49 No.9, pp.749-759, 2016. (Korean with English abstract)
- 158 Mizuta, Ryo; Akihiko Murata; Masayoshi Ishii; Hideo Shiogama; Kenshi Hibino; Nobuhito Mori; Osamu Arakawa; Yukiko Imada; Kohei Yoshida; Toshinori Aoyagi; Hiroaki Kawase; Masato Mori; Yasuko Okada; Tomoya Shimura; Toshiharu Nagatomo; Mikiko Ikeda; Hirokazu Endo; Masaya Nosaka; Miki Arai; Chiharu Takahashi; Kenji Tanaka; Tetsuya Takemi; Yasuto Tachikawa; Khujanazarov Temur; Youichi Kamae; Masahiro Watanabe; Hidetaka Sasaki; Akio Kitoh; Izuru Takayabu; Eiichi Nakakita, Over 5000 years of ensemble future climate simulations by 60 km global and 20 km regional atmospheric models, *Bulletin of the American Meteorological Society*, 2016.
- 159 Takemi, Tetsuya, Yasuko Okada, Rui Ito, Hirohiko Ishikawa, and Eiichi Nakakita, Assessing the impacts of global warming on meteorological hazards and risks in Japan: Philosophy and achievements of the SOUSEI program, *Hydrological Research Letters*, Vol.10, No.4, pp119-125, 2016.
- 160 森 信人・志村智也・吉田康平・水田 亮・岡田靖子・Khujanazarov Temur ・石井正好・木本昌秀・高薮出・中北英一，全球60kmAGCMを用いた大規模アンサンブル気候予測実験とこれを用いた高潮長期評価，*土木学会論文集B2（海岸工学）*，Vol. 72, No. 2, I_1471-I_1476, 2016.
- 161 Nakakita, Eiichi, Hiroto Sato, Ryuta Nishiwaki, Hiroyuki Yamabe, and Kosei Yamaguchi, Early Detection of Baby-Rain-Cell Aloft in a Severe Storm and Risk Projection for Urban Flash Flood, *Advances in Meteorology*, 15pp., Article ID 5962356, 2017.
- 162 Kim, Sunmin, Yasuto Tachikawa, and Eiichi Nakakita, Statistical downscaling of AGCM60km precipitation based on spatial correlation of AGCM20km output, *Hydrological Research Letters*, Vol.11, No.1, pp73-79, 2017.
- 163 鈴木博人・中北英一・高橋日出男，1kmメッシュ解析雨量の精度検証 —関東甲信越地方と東北地方における解析—，*土木学会論文集*，B1(水工学)，第73巻，No.4, pp.13-18, 2017.3.
- 164 中北英一・森元啓太郎・峠 嘉哉，5km解像度領域気候モデルを用いたゲリラ豪雨生起頻度の将来変化推定，*土木学会論文集*，B1(水工学)，第73巻，No.4, pp.133-138, 2017.3.

- 165 山口弘誠・古田康平・中北英一, XRAINを用いたアンサンブル同化による線状降水帯の維持と発生の予測, 土木学会論文集, B1 (水工学), 第73巻, No.4, pp.211-216, 2017.3.
- 166 東 俊孝・片山勝之・中北英一, マルチセル型ストームの早期探知に関する研究, 土木学会論文集, B1(水工学), 第73巻, No.4, pp.223-228, 2017.3.
- 167 伊藤佑果・直原悠紀子・大石 哲・中北英一, 移流モデルを用いた短時間降雨予測精度向上のための予測パターン選別手法に関する研究, 土木学会論文集, B1 (水工学), 第73巻, No.4, pp.229-234, 2017.3.
- 168 松原隆之・高田 望・中北英一, 気象庁週間アンサンブル予報と気象庁GSMを活用した流域雨量の予測精度向上手法の基礎的検討, 土木学会論文集, B1 (水工学), 第73巻, No.4, pp.265-270, 2017.3.
- 169 東 俊孝・金原 知穂・山口 弘誠・中北 英一: Xバンド偏波レーダ網を用いた大粒子の上空探知に関する研究, 土木学会論文集, B1 (水工学), Vol.73, No.3, pp.43-53, 2017.
- 170 鈴木博人・中北英一・高橋日出男: レーダー雨量の列車運転規制への活用に関する研究, 土木学会論文集, B1 (水工学), Vol.73, No.3, pp.54-70, 2017.
- 171 小川まり子・大石 哲・鈴木賢士・中川勝広・山口弘誠・中北英一: ビデオゾンデで測定された上空の雨滴に対する捕捉効率に関する研究, 土木学会論文集, B1 (水工学), 第74巻, No.4, pp.49-54, 2018.3.
- 172 中北英一・新保友啓・佐藤悠人・山口弘誠・大東忠保: Kaバンドレーダを利用した積乱雲生成段階に関する研究, 土木学会論文集, B1 (水工学), 第74巻, No.4, pp.55-60, 2018.3.
- 173 山口弘誠・上嶋一樹・堀池洋祐・中北英一: 雲情報観測を想定したデータ同化によるゲリラ豪雨予測, 土木学会論文集, B1 (水工学), 第74巻, No.4, pp.61-66, 2018.3.
- 174 中北英一・小坂田ゆかり: 気候変動に伴う梅雨期集中豪雨と大気場の将来変化に関するマルチスケール解析, 土木学会論文集, B1 (水工学), 第74巻, No.4, pp.139-144, 2018.3. (水工学論文賞受賞論文)
- 175 Harjupa, Wendi, Eiichi NAKAKITA, Yasuhiko SUMIDA, and Kosei YAMAGUCHI : Fundamental investigation of generation of guellira-heavy rainfall using Himawari-8 and XRAIN information on Kinki region, Journal of Japan Society of Civil Engineers, B1 (Hydraulic Engineering), JSCE, Vol.74, No.4, pp.283-288, 2018.3.
- 176 高倉秀幸・河田暢亮・中北英一・中津川誠: 気象予測情報を適用した発電専用ダムにおける流域被害軽減運用手法の検討, 土木学会河川技術論文集, 第24巻, pp.617-622, 2018.6.
- 177 Osakada, Yukari, and Eiichi Nakakita, Future Change of Occurrence Frequency of Baiu Heavy Rainfall and Its Linked Atmospheric Patterns by Multiscale Analysis, SOLA, 14, 79-85, doi:10.2151/sola.2018-014., 2018.6
- 178 Yu, Wansik, E. Nakakita, S. Kim, and K. Yamaguchi, Assessment of ensemble flood forecasting with numerical weather prediction by considering spatial shift of rainfall fields, Water Resources and Hydrologic Engineering, KSCE Journal of Civil Engineering, Vol.22, pp.3686-3696, 2018.09.
- 179 Wu, Ying-Hsin, Takahiro Sayama, and Eiichi Nakakita, Appropriate boundary condition for Dupuit-Boussinesq theory on the steady groundwater flow in an unconfined sloping aquifer with recharge, Water Resources Research, Vol.54, pp.5933-5947, 2018.10.
- 180 Wu, Ying-Hsin and Eiichi Nakakita, A transient model for shallow groundwater table evolution in an unconfined sloping aquifer, Journal of Japan Society of Civil Engineers, Ser. B1 (Hydraulic Engineering), Vol.74, No.5, pp.319-324, 2018.6.
- 181 小坂田ゆかり, 中北英一: 領域気候モデルによる梅雨豪雨継続時間と積算雨量の将来変化予測と過去の事例を用いた検証, 土木学会論文集B1 (水工学), Vol.74, No.5, pp.19-24, 2018.6.
- 182 中北英一・橋本郷志・森元啓太郎・小坂田ゆかり, 気候変動に伴う大気安定化及び水蒸気浸潤がゲリラ豪雨生起頻度に及ぼす影響, 土木学会論文集B1 (水工学), Vol.74, No.5, pp.25-30, 2018.6. (水工学論文賞受賞論文)
- 183 若月泰孝・因幡直希・山口弘誠・中北英一, Xバンドマルチパラメータレーダを用いた雨滴粒径分布と降水量の推定, 土木学会論文集B1 (水工学), Vol.74, No.5, pp.247-252, 2018.6.
- 184 中川勝広・片山勝之・増田有俊・是津耕司・中北英一, 渦管を用いた局地的豪雨探知手法に関する研究, 土木学会論文集B1 (水工学), Vol.74, No.5, pp.265-270, 2018.6.
- 185 山口弘誠・堀池洋祐・中北英一, 平成29年7月九州北部豪雨における線状降水帯の予測可能性と発達機構の解析, 土木学会論文集B1 (水工学), Vol.74, No.5, pp.277-282, 2018.6.
- 186 Harjupa, Wendi, Eiichi Nakakita, Yasuhiko Sumida, Aritoshi Masuda, TRIAL UTILIZATION OF RAPID SCAN OBSERVATION OF HIMAWARI-8 FOR OBTAINING INFORMATION ON CUMULUS LIFE STAGE, Journal of Japan Society of Civil Engineers, B1 (Hydraulic Engineering), JSCE, Vol.74, No.5, pp.283-288, 2018.6.
- 187 中須賀淳・香川雄治・佐藤 務・越智倫弘・中村謙一・須賀龍太郎・中北英一, 早期の事前防災行動に資する洪水予測情報の提示手法 ~荒川下流域を対象として~, 土木学会論文集B1 (水工学), Vol.74, No.5, pp.1285-1290, 2018.6.
- 188 中渕遥平・鈴木博人・中北英一, 列車運転規制への活用を目的とした降雨予測情報の精度検証, 土木学会論文集B1 (水工学), Vol.74, No.5, pp.1303-1308, 2018.6.
- 189 Mori, Nobuhito, Tomoya Shimura, Kohei Yoshida, Ryo Mizuta, Yasuko Okada, Mikiko Fujita, Temur Khujanazarov, and Eiichi Nakakita, Future changes in extreme storm surges based on mega-ensemble projection using 60-km resolution atmospheric global circulation model, Coastal Engineering Journal,

- <https://doi.org/10.1080/21664250.2019.1586290>, 2019.3.
- 190 中淵遥平・鈴木博人・金原知穂・遠藤 理・中北英一, 降雨予測情報を用いた列車運転規制の発令予測精度の評価, 土木学会論文集B1 (水工学), Vol.75, No.2, pp.121-1126, 2019.6.
 - 191 Harjupa, Wendi Eiichi Nakakita, Yasuhiko Sumida, Aritoshi Masuda, RDCA INDEX BASED UPDRAFT AREA AND ITS VERIFICATION USING POLARIMETRIC DOPPLER RADAR, Journal of Japan Society of Civil Engineers, B1 (Hydraulic Engineering), JSCE, Vol.75, No.2, pp.127-132, 2019.6.
 - 192 Wu, Ying-Hsin, Eiichi Nakakita, ASSESSMENT OF LANDSLIDE HAZARDS USING LOGISTIC REGRESSION WITH HIGH-RESOLUTION RADAR RAINFALL OBSERVATION AND GEOLOGICAL FACTOR, Journal of Japan Society of Civil Engineers, B1 (Hydraulic Engineering), JSCE, Vol.75, No.2, pp.157-162, 2019.6.
 - 193 山口弘誠・黒田奈那・中北英一, 線状降水帯豪雨予測に向けた水蒸気のアナシブル予測情報の更新履歴解析, 土木学会論文集B1 (水工学), Vol.75, No.2, pp.1153-1158, 2019.6.
 - 194 194. 中北英一・高尾充政・新保友啓・山口弘誠・中川勝広, Kaバンドレーダとフェーズドアレイレーダを用いたゲリラ豪雨発達初期の積乱雲詳細解析, 土木学会論文集B1 (水工学), Vol.75, No.2, pp.1171-1176, 2019.6.
 - 195 大石 哲・林 直希・小川まり子・梶川義幸・中北英一, ビデオゾンデを用いた鉛直風速プロファイルの算出と雲物理的解析, 土木学会論文集B1 (水工学), Vol.75, No.2, pp.1177-1182, 2019.6.
 - 196 小坂田ゆかり, 中北英一, 平成30年7月豪雨の特徴及び地球温暖化による影響評価, 土木学会論文集B1 (水工学), Vol.75, No.1, pp.231-238, 2019.6.
 - 197 山路昭彦・増田有俊・中北英一, 2次元セル追跡手法に基づいた高詳細レーダ降雨情報による短時間降雨予測手法の開発, 河川技術論文集, 第26巻, 2020.6. (印刷中) .
 - 198 KIM, Hwayeon and Eiichi NAKAKITA, Development of the early detection and quantitative risk prediction method on the guerrilla heavy rainfall, Journal of Japan Society of Civil Engineers, B1 (Hydraulic Engineering), JSCE, Vol.76, No.2, pp.175-180, 2020.8.
 - 199 小坂田ゆかり・中村 葵・中北英一, 梅雨期集中豪雨の時空間特性を考慮した強雨継続時間と積算雨量の将来変化の統計分析, 土木学会論文集B1 (水工学), Vol.76, No.2, pp.7-12, 2020.8.
 - 200 小坂田ゆかり・中北英一, 梅雨期集中豪雨の時空間特性を考慮した強雨継続時間と積算雨量の将来変化の統計分析, 土木学会論文集B1 (水工学), Vol.76, No.2, pp.1-6, 2020.8.
 - 201 WU, Ying-Hsin, Eiichi NAKAKITA and Masaru KUNITOMO, Future Change of rainfall-triggered land slide risk using NHRCM05 based on critical line method, Journal of Japan Society of Civil Engineers, B1 (Hydraulic Engineering), JSCE, Vol.76, No.2, pp.67-72, 2020.8.
 - 202 山口弘誠・大野哲之・中北英一, 温位勾配に着目した鉛直渦度データ同化手法の提案と理想実験, 土木学会論文集B1 (水工学), Vol.76, No.2, pp.259-264, 2020.8.
 - 203 AHMAD, Fauziana, Kosei YAMAGUCHI and Eiichi NAKAKITA, Investigation of single cell to multicell in the cluster thunderstorms using vorticity analysis, Journal of Japan Society of Civil Engineers, B1 (Hydraulic Engineering), JSCE, Vol.76, No.2, pp.187-192, 2020.8.
 - 204 高見 和弥・鈴木 賢士・山口 弘誠・中北 英一, 冬期の講師異形態の判別を目的とした偏波レーダを用いた0°C高度推定手法, 土木学会論文集B1 (水工学), Vol.76, No.2, pp.205-210, 2020.8.
 - 205 中淵 遥平・鈴木 博人・金原 知穂・遠藤 理・中北 英一, 列車運転規制への活用のための短時間降雨予測の補正手法の検討, 土木学会論文集B1 (水工学), Vol.76, No.2, pp.409-414, 2020.8.
 - 206 大石 哲・南郷 脩介・梶川 義幸・山浦 剛・鈴木 賢士・山口 弘誠・中北 英一, ビデオゾンデと数値シミュレーションによる雲内の雨滴粒径分布計測手法に関する研究土木学会論文集B1 (水工学), Vol.76, No.2, pp.199-204, 2020.8.
 - 207 加藤 大輔, 篠原 瑞生, 永野 隆士, 加藤 雅也, 坪木 和久, 田中 智大, 立川 康人, 中北 英一, d4PDFを使用したベトナム・紅河の極値流量の将来変化予測, 土木学会論文集B1 (水工学) 76(1) 107-117 2020.8.
 - 208 Mori, Nobuhito, Tetsuya Takemi, Yasuto Tachikawa, Hirokazu Tatano, Tomoya Shimura, Tomohiro Tanaka, Toshimi Fujimi, Yukari Osakada, Adrean Web, and Eiichi Nakakita, Recent nationwide climate change impact assessments of natural hazards in Japan and East Asia, Weather and Climate Extremes, https://www.dropbox.com/s/odble5jmvq2dvj2/proof_WACE_100309_AW.pdf?dl=0, 2021.2.
 - 209 Nugroho, Ginaldi Ari, Kosei Yamaguchi, Eiichi Nakakita, Masayuki K. Yamamoto, and Seiji Kawamura, Utilization of High-Resolution Boundary Layer Radar and Wavelet to Detect Microscale Downdraft-Updraft Combination, SOLA, 2021, Vol.17, pp. 63-68, doi:10.2151/sola.2021-010, 2021.2
 - 210 松本 知士・池田 典之・河田 暢亮・山田 朋人・中津川 誠・中北 英一, d4PDF を活用した発電専用ダムによる洪水被害軽減運用手法の効果検証, 河川技術論文集, 第27 巻, 2021 年6 月.
 - 211 Wu Ying-Hsin, E. Nakakita, A. Yamaji: Future change of snake line pattern and its relation to sediment disasters, Journal of Japan Society of Civil Engineers Ser. B1 (Hydraulic Engineering), 77(2), I_193-I_198, 2021.12.
 - 212 中北英一・原田菜知・小坂田ゆかり: 地球温暖化に伴う梅雨期の降雨および大気場のタイムシームレスな将来変化解析, 土木学会論文集B1 (水工学), Vol.77, No.2, pp.I_1273-I_1278, 2021.12.
 - 213 小坂田ゆかり・中北英一: 線状対流系の擬似温暖化実験に周辺擾乱が与える影響と環境場指標の解析, 土

- 木学会論文集B1(水工学), Vol.77, No.2, pp.I_1255-I_1260, 2021.12.
- 214 太田皓陽・二瓶泰雄・伊藤毅彦・川瀬 宏明・佐山 敬洋・中北 英一: 令和元年東日本台風荒川上流域の洪水氾濫状況への気候変動影響評価, 土木学会論文集B1(水工学), Vol.77, No.2, pp.I_1-I_6, 2021.12.
- 215 渡部哲史・内海信幸・北野利一・中北 英一: 将来変化倍率の逆転に着目した d4PDF 領域実験における 2°Cと 4°C上昇の極端降水量の考察, 土木学会論文集B1(水工学), Vol.77, pp.1279-1284, 2021.12.
- 216 Nugroho, Ginaldi Ari, Kosei Yamaguchi, Hironori Iwai, Tadayasu Ohigashi, Taro Shinoda, Kazuhisa Tsuboki and Eiichi Nakakita, CONVECTIVE INITIATION CHARACTERISTICS BY DOPPLER LIDAR OBSERVATION DURING KA-BAND RADAR FIRST ECHO : A CASE STUDY, Journal of Japan Society of Civil Engineers Ser. B1 (Hydraulic Engineering), 77(2), I_1303-I_1308, 2021.12.
- 217 Kim, Hwayeon and Eiichi Nakakita, ADVANCES IN THE QUANTITATIVE RISK PREDICTION FOR IMPROVING THE ACCURACY ON THE GUERRILLA HEAVY RAINFALL, Journal of Japan Society of Civil Engineers Ser. B1 (Hydraulic Engineering), 77(2), I_1321-I_1326, 2021.12.
- 218 Kawamiya, Michio, Masayoshi Ishii, Nobuhito Mori, Eiichi Nakakita, Izuru Takayabu, Masahiro Watanabe, Projection and impact assessment of global change, Progress in Earth and Planetary Science, 2021.
- 219 大野 哲之・山口 弘誠・中北 英一, 集中豪雨発生の早期探知に向けた熱力学的効果を伴う渦度場のスケール解析, 土木学会論文集B1(水工学), Vol.77, No.2, pp.I_1123-I_1128, 2021.12.
- 220 山口弘誠, 村瀬公崇, 中北英一, 積乱雲周辺の対流圏中層水蒸気が降雨強化へ及ぼす影響と指標化, 土木学会論文集B1(水工学), Vol.77, No.2, pp.I_1135-I_1140, 2021.12.
- 221 Takayabu I., R. Rasmussen, E. Nakakita, A. Prein, H. Kawase, S. Watanabe, S. Adachi, T. Takemi, K. Yamaguchi, Y. Osakada and Y. H. Wu, Convection-Permitting Models for Climate Research, Bull. Am. Meteorol. Soc., Vol.102, pp.1-12, 2021. doi:10.1175/BAMS-D-21-0043.1.
- 222 大野哲之, 山口弘誠, 中北英一, 線状対流系における水蒸気フラックス・降水粒子分布のマルチフラクタル特性, 土木学会論文集B1(水工学), Vol.78, No.2, pp.I_319-I_324, 2022.11.
- 223 KIM Hwayeon, 前川智寧, 中北英一, グリラ豪雨の定量的リスク予測に向けた ライフサイクル概念の利用可能性の検討, 土木学会論文集B1(水工学), Vol.78, No.2, pp.I_331-I_336, 2022.11
- 224 中北英一, 加藤泰樹, 令和元年台風19号における Seeder Feeder 機構の役割に関する研究, 土木学会論文集B1(水工学), Vol.78, No.2, pp.I_349-I_354, 2022.11.
- 225 中淵遥平, 中北英一, XRAIN立体観測データによる地形性降雨を考慮した短時間降雨予測手法の検討, 土木学会論文集B1(水工学), Vol.78, No.2, pp.I_355-I_360, 2022.11.
- 226 山口弘誠, 河谷能幸, 中北英一, 山岳波がもたらす温位変動に着目した LESによる線状対流系の勃発メカニズムの解明, 土木学会論文集B1(水工学), Vol.78, No.2, pp.I_361-I_366, 2022.11.
- 227 高見和弥, 竈本倫平, 鈴木賢士, 山口弘誠, 中北英一, 位相差変化率に着目した 0°C高度上空のレーダー反射因子の鉛直勾配の評価, 土木学会論文集B1(水工学), Vol.78, No.2, pp.I_379-I_384, 2022.11
- 228 Si Ha, Toshio Fujimi, Xinyu Jiang, Nobuhito Mori, Rawshan A. Begum, Masahide Watanabe, Hirokazu Tatano, Eiichi Nakakita, Estimating Household Preferences for Coastal Flood Risk Mitigation Policies Under Ambiguity, Earth's Future Volume 10, Issue 12, December, 2022.
- 229 Naka, Yukari and Eiichi Nakakita(2023) : Comprehensive future projections for the line-shaped convective system associated with Baiu front in Japan under RCP scenarios using regional climate model and pseudo global warming experiments, Erontiers in Earth Science.
- 230 Kawase, H., M.Nosaka, S.I.Watanabe, K.Yamamoto, T.Shimura, Y. Naka, Y.-H.Wu, H. Okachi, T.Hoshino, R. Ito, S. Sugimoto, C. Suzuki, S. Fukui, T. Takemi, Y. Ishikawa, N. Mori, E. Nakakita, T.J. Yamada, A. Murata, T. Nakagawa, and I. Takayabu(2023):Identifying robust changes of extreme precipitation in Japan from large ensemble 5-km-Grid regional experiments for 4K warming scenario, Journal of Geophysical Research: Atmospheres.
- 231 中北 英一・佐藤 克哉・中淵 遥平, Seeder-Feeder モデル及びレーダー立体観測情報の活用による地上雨量推定手法の開発, 土木学会論文集B1(水工学), Vol.80, No.2, 2023.12.
- 232 仲 ゆかり・神谷 太雅・中北 英一, 2012 年亀岡豪雨を対象にした水蒸気流入過程と大気安定度の感度実験, 土木学会論文集B1(水工学), Vol.80, No.2, 2023.12.
- 233 仲ゆかり, 福田果奈, 中北英一, 時空間特性を考慮した停滞前線性線状対流系の過去事例における発生・発達条件の統合的解析, 土木学会論文集B1(水工学), Vol.80, No.2, 2023.12.
- 234 梶川 義幸・渡辺 悠一・大石 哲・中北 英一, 京都市に豪雨をもたらす降水システムの時空間構造と環境場に関する解析, 土木学会論文集B1(水工学), Vol.80, No.2, 2023.12.
- 235 Takami, Kazuya, Rimpei Kamamoto, Kenji Suzuki, Kosei Yamaguchi, Eiichi Nakakita, Relationship between Newly Fallen Snow Density and Polarimetric Parameters Obtained from X-Band Radar Observations along the Sea of Japan Coast in January 2021, JTECH, 2024.

著書・解説・講演集・テキスト

- 1 椎葉充晴・中北英一：「降雨と流出の実時間予測手法について」, 気象予測とその水文, 水資源学への応用, 水文・水資源学会講習会テキスト, pp.130-145, 1992.
- 2 中北英一：「レーダー雨量計の高度利用」, 水工学に関する夏期研修会講義集Aコーステキスト, 土木学会水理委員会, A-3-1-A-3-22, 1994.
- 3 中北英一：「電波で探る集中豪雨ーレーダーによる観測と予知ー」, 京都大学防災研究所公開講座ー防災科学の最先端ー, pp.97-122, 1994.
- 4 タカハシツトム・中北英一：「プロジェクト・1：降水物理と降雨予測システム」, 文字資源研究センター研究報告, 第14号, pp.25-46, 1994.
- 5 Nakakita, E.: “Short-term rainfall prediction methods using radar related to flood forecast in Japan”, Proc. of Symp. on Disaster Prevention Technology, Research Center for Disaster Prevention Science & Technology, Korea, pp.49-68, 1995.
- 6 中北英一：「洪水予測と降雨観測へのレーダーの利用」, 洪水予警報システムと予報方式・管理に関する研修会テキスト(台湾語訳), 台湾水理局, 22 pp., 1995.
- 7 中北英一：「レーダーによる降雨観測・予測と洪水予測」, 第2回「水害防止指揮自動化システム」セミナー論文集(中国語訳併記), 中華人民共和国水利部水害防止指揮自動化システムプロジェクト, 23 pp., 1996.
- 8 中川 一・中北英一：「中国国家水害プロジェクトセミナーに参加して-洞庭湖の水害調査と三峡ダムの視察-」, 河川災害に関するシンポジウム講演集, pp.31-49, 1997.
- 9 水文・水資源学会編(共著)：水文・水資源ハンドブック, 朝倉書店, 1997.
- 10 土木学会編(共著)：土木用語大辞典, 技報堂出版, 1998.
- 11 今本博建・宝 馨・林 泰一・中川 一・戸田圭一・中北英一・武藤裕則・市川 温：「1998年8月豪雨による那珂川の被害について」, 河川災害に関するシンポジウム講演集, pp.1-10, 1999.
- 12 土木学会水理委員会編(共著)：水理公式集, 1999.
- 13 中北英一・中川勝広・鈴木善晴・大石 哲・池淵周一：「山岳性降雨観測と解析, ～建設産業の発展のための研究～」, 研究成果発表会テキスト, 近畿建設協会, pp.37-45, 1999.
- 14 中北英一：「琵琶湖プロジェクトー琵琶湖流域の水・熱循環過程解明の取り組みー」, 特別講演, 水文・水資源学会誌, 第13巻6号, pp.429-438, 2000.
- 15 中北英一：「レーダー技術の現状と今後」, 雨水技術資料, Vol.38, pp.25-31, 2000.
- 16 中北英一：「水災害についてー豪雨と都市災害ー」, 京都大学防災研究所公開講座, 21世紀の近畿地方の防災ー都市と防災ー, pp.17-26, 2000.
- 17 中北英一：「水資源問題とものづくり・人づくり」, 京都大学大学院工学研究科環境地球工学専攻創立10周年記念誌, 2001.
- 18 池田駿介・中北英一・清水義彦：「ベネズエラ土砂・洪水災害報告(エルグアポダムの決壊と氾濫痕跡調査を中心として)」, 河川災害に関するシンポジウム講演集, pp.31-49, 2001.
- 19 防災研究所(編)(共著)：防災学ハンドブック, 朝倉書店, 2001.
- 20 中北英一：レーダ雨量計の精度・利活用, 平成13年度河川情報シンポジウム講演集, (財)河川情報センター, 3-1-3-30, 2001.
- 21 田中賢治, 中北英一, 池淵周一：「琵琶湖プロジェクト」, 平成13年度水資源セミナー講演概要集, pp.17-21, 2001.11
- 22 日本自然災害学会〔監修〕(共著)：防災辞典. 築地書館, 2002.
- 23 中北英一：リ「モートセンシング・レーダー水文学の展望」, 水工学に関する夏期研修会講義集Aコース, 土木学会水理委員会, A-5-1-A-5-19, 2002.
- 24 中北英一：「レーダー水文学の展望」, 日本学術会議陸水シンポジウム「アジアの環境変動と陸の水」講演集, 6 pp., 2002.
- 25 中北英一：「都市近郊の降雨現象」, 水循環シンポジウム -21世紀の研究課題と展望- プロシーディングス, 日本学術会議, pp.39-42, 2003.
- 26 中北英一：「欧州災害についてー気象・水文状況と災害の実態ー」, 河川, (社)日本河川協会, No.679, pp.14-23, 2003.
- 27 中北英一：「降雨観測」, [特集]リモートセンシング最前線, 土木学会誌, Vol.89, No.1, pp.25-27, 2004.
- 28 Nakakita, Eiichi, “Radar hydrology”, The Textbook for the 12th IHP Training Course in 2003, Eds. by E. Nakakita and H. Uyeada, UNESCO, 21 pp.111-131, 2004.
- 29 中北英一：「都市河川流域が対象とする降雨現象」, 季刊河川レビュー, No.12冬季号, 新公論社, pp.35-40, 2004.
- 30 北村隆一・堀 智晴(編), 北村隆一・尾崎博明・東野 達・中北英一・堀 智晴(著)：「工学のための確率・統計」, 207pp., 朝倉書店, 2006.
- 31 中北英一：「世界での異常降雨出現特性と災害」, 京都大学防災研究所公開講座, テキスト, 10pp., 京都

- 大学防災研究所, 2006.
- 32 中北英一:「時間,空間相関長等瞬時降雨場パラメータの気候推定値の可能性」,全球観測(GPM)計画 — 科学的・社会的期待—,GPM科学文書編集委員会編集,(独)宇宙航空研究開発機構地球観測センター発行, pp.88-94,2007年3月.
 - 33 Nakakita, Eiichi, Climate Change Study on Disaster Environment in Japan, Proc. of International Expert Symposium on "Climate Change: Modelling, Impacts & Adaptations", National Singapore University, Singapore, November, pp.63-66, 2007.
 - 34 環境省地球温暖化影響・適応委員会(共著):気候変動への賢い適応 —地球温暖化影響・適応委員会報告書—,環境省地球環境局研究調査室,2008.6.
 - 35 中北英一:「温暖化進行時における河川水文の変化」,第6回水文・水資源セミナー,テキスト,水文・水資源学会, pp.17-27, 2008.7.
 - 36 中北英一:「温暖化と異常降雨ならびに今後の災害影響評価への取組」,第7回水資源に関するシンポジウム,講演集, pp.62-89, 2008.8.
 - 37 高橋裕(編)(共著):川の辞典,丸善,2009年1月.
 - 38 中北英一:「ゲリラ豪雨とそのタマゴ」,銀行倶楽部,談話室,平成21年10月号, No.513, pp.2-6, 社団法人 東京銀行協会, 2009.10.
 - 39 中北英一:「ゲリラ豪雨のタマゴ —早期探知と対策—」,水循環 貯留と浸透,社団法人 雨水貯留浸透技術協会, Vol.74, pp.10-14,2009.11.
 - 40 中北英一:「レーダーによる降雨観測と予測の最新動向について」,特集・河川防災情報,河川,(社)日本河川協会, No.762, 2010年1月号, pp.20-27, 2010.1.
 - 41 中北英一:「集中豪雨・ゲリラ豪雨の観測・予測技術の現状と今後の動向」,第52回電力土木講習会テキスト,電力土木技術協会, pp.13-33, 2010.2.
 - 42 中北英一:「レーダーによる降雨観測と降雨予測」,平成22年度専門課程 水災害予報技術研修 研修テキスト,国土交通省 国土交通大学校, 2010.4.
 - 43 中北英一:「ゲリラ豪雨とその今後」,総合雑誌「環境・エネルギー」,政策総合研究所,'10年6月号, pp.8-9, 2010.6.
 - 44 中北英一:「集中豪雨のモニタリングと予測」,[特集]防災の水工学,日本流体力学会誌「ながれ」,第29巻,第3号, pp.203-210, 2010.7.
 - 45 中北英一:「将来の極端気象を知る〜21世紀気候変動予測革新プログラム〜」,特集「極端気象に備える」1,土木学会誌, Vol.95, No.8, pp.18-20, 2010.8.
 - 46 中北英一:「豪雨災害と気候変動 -誤解と重要点の整理-」,巻頭言,月刊建設,全日本建設技術協会, 09-10, 2010.10.
 - 47 中北英一:「我が国の災害環境への気候変動影響評価」,安全問題研究会論文集, Vol.5, pp.1-6, 2010.11.
 - 48 中北英一:「水文観測におけるレーダー降水観測の最前線」,水工学に関する夏期研修会講義集Aコーステキスト,土木学会水工学委員会, A-3-1-A-3-22, 2011.8.
 - 49 防災研究所(編)(共著):自然災害科学事典,丸善, 2011.11.
 - 50 中北英一:「都賀川への思い」,巻頭言,河川,(社)日本河川協会, No.792, 2012年7月号, pp.3-4, 2012.7.
 - 51 中北英一:「3.豪雨災害軽減に向けた予測情報」,気象学会2010年度春季大会シンポジウム「災害軽減に向けたシビア現象予測の将来」の報告,天気, Vol.57, No.7, pp.540-542, 2012.7.
 - 52 中北英一:「レーダーによる豪雨予測に携わってきて」,学会賞受賞記念寄稿,水文・水資源学会誌, Vol. 26, No.1, pp. 4-9. Jan. 2013.
 - 53 Nakakita, Eiichi, "Scientific and Integrated Reserach by In-situ Campaign Observations Synchronizing Polarimetric Radar with Video-Sonde", Journal of Disaster Research, Vol.8, No.1, pp.157-158, 2013.
 - 54 中北英一:「気候変動による河川流域への影響評価」,特別寄稿,ダム技術,(一般財団法人)ダム技術センター, No.325, pp.3-22, 2013.10.
 - 55 中北英一:「水災害と気候変動影響評価」,巻頭言,土木技術資料, Vol.56, No.6, 2014.6
 - 56 中北英一:「我が国における豪雨の動向と予測」,特集 自然災害の予測と防災,電気評論,(株)電気評論社, No.8, pp.19-23, 2014.8.
 - 57 中北英一:「昨今の豪雨災害 将来の気候変動影響推測と適応への思いも交えて」,巻頭言,月刊建設,全日本建設技術協会, No.9, 2014.9.
 - 58 中北英一:「レーダーによる豪雨観測・予測と社会的役割」,巻頭言,東芝レビュー,東芝, No.9, 2014.9.
 - 59 中北英一:「集中豪雨のリアルタイム観測・予測技術」,水工学に関する夏期研修会講義集Aコーステキスト,土木学会水理委員会, 14-A-8-1-A-8-15, 2014.
 - 60 森 信人, 中北 英一, 竹見 哲也, 気候変動にともなう風水害の将来変化予測の現状について (特集 気候変動: 未来選択に向けて), 環境情報科学 = Environmental information science, 44, 1, 2015.
 - 61 Ranzi R., G. Nalder, A.A. Abdalla, J. Ball, G.S. De Costa, C. Galvão, Y.Jia, Y.O. Kim, E. Kolokytha, S.I. Lee, E. Nakakita, V.T.V. Nguyen, A. Paquier, P.L. Patel, M.A. Peviani, R. Teegavarapu, Summary of recommendations for policymakers on adaption to climate change in water engineering. Hydrolink, ISSN: 1388-3445, IAHR, Madrid, 3,

- 93-95, 2015.
- 62 中北英一：特集「気候変動への<適応>を考える」，DPR1 NEWS LETTER, pp.6-8, No.76, 2015. 5.
- 63 中北英一：「水災害分野における気候変動影響評価と適応」，特集「気候変動適応策と不動産問題」，日本不動産学会誌，No.112 (Vol.29, No.1), pp.35-39, 2015.6.
- 64 中北英一：「局所的集中豪雨の探知と予測」，特集「大雨からまちを守る雨水対策」，下水道協会誌，平成27年6月号，2015.6.
- 65 中北英一：「水災害分野における気候変動影響評価と適応」，総説，電力土木，No.382, pp.3-7, 2016.3.
- 66 東俊孝，古賀光彦，中北英一：新たな道路交通情報サービス（VICS WIDE）におけるXRAINの活用，土木技術資料，第58巻，第7号，pp.30-33, 2016.
- 67 中北英一：「気象災害の防止に向けた気象レーダーの活用」，特集・気象災害から鉄道を守る，特別記事（寄稿），鉄道総研レビュー（Railway Research Review(RRR)), Vol.37. No.7, pp.4-7, 2016.7.
- 68 中北英一：「土木における気象予測技術の必要性」，特集「気象予測と土木 -気象予測技術の最前線-」，土木学会誌，第101巻，第8号，pp.10-13, 2016.8.
- 69 中北英一：「レーダ雨量計への思い」，巻頭言，特集・レーダ雨量計開発の歩み，河川，(社)日本河川協会，第72巻，第9号，pp.3-7, 2016.9.
- 70 国土交通省水管理・国土保全局河川計画課河川情報企画室：「国交省レーダ雨量計の開発経緯と今後の活用に向けて」（座談会），河川，(社)日本河川協会，第72巻，第9号，pp.3-7, 2016.9.
- 71 中北英一：「台風・豪雨災害への備え -気候変動を考慮して」，学術動向，日本学術会議，pp.71-74, Vol.21, No.11, 2016.11.
- 72 中北英一：「3次元観測気象レーダーを活用しつくす」，特集/雨水管理の最先端技術（その1：降水），水循環 貯留と浸透，第104号，pp.2-7, 2017.3.
- 73 中北英一：「最新型気象レーダーによる豪雨の観測と早期探知・予測 -鉄道の安全運行に向けて-」，第30回鉄道総研講演会要旨集，pp.1-8, 2017.11.
- 74 真木雅之・上田 博・中北英一：「Xバンド偏波レーダーによる降水観測技術の開発及び社会実装 - 2016年度岸保賞受賞記念講演-」，天気，Vol.64, No.12, pp.849-972, 2017.12.
- 75 中北英一：「ゲリラ豪雨の早期探知・危険性予測とメカニズム解明」，特集[集中豪雨・浸水氾濫]，ながれ，Vol.37, pp.3-10, 2018.
- 76 中北英一：「最新型気象レーダーを用いたゲリラ豪雨の早期探知・危険性予測とメカニズム解明」，水工学に関する夏期研修会講義集，2018年度(第54回)，A-1-1 - A-1-13, 2018.
- 77 中北英一：「忍び寄る地球温暖化影響」，NPO法人おおつ環境フォーラム通信，広報誌No.24, pp.1-2, 2019.5.
- 78 中北英一：「忍び寄る地球温暖化影響と水災害」，巻頭言，月刊「建設」，Vol.63, No.6, pp.4-5, 2019.6.
- 79 中北英一：「梅雨豪雨と地球温暖化」，論説，地域防災に関する総合情報誌「地域防災」，(財)日本防火・防災協会，pp.4-7, 2019.6.
- 80 中北英一：「気象災害と忍び寄る地球温暖化の影響」，特集「変わる土木。変わらぬ使命。-土木が支えた平成の30年を振り返る-」，土木学会誌，Vol.104, No.7, pp18-19, July, 2019.7
- 81 中北英一：第1回「最近の災害から思うこと」，連載「後悔しない地球温暖化適応 ~”順応的”適応策の推進」，隔月誌「地球温暖化」，日報ビジネス社，No.67 (2020年5月号)，pp26-27, 2020.5
- 82 中北英一：「気候変動への適応とは」，特集「水対策を早急に！」，下水道協会誌，Vo.57, No.692, pp.4-7, 2020.6.
- 83 中北英一：第2回「どのような外力を想定して地球温暖化への適応策を考えるべきか？」，連載「後悔しない地球温暖化適応 ~”順応的”適応策の推進」，隔月誌「地球温暖化」，日報ビジネス社，No.68 (2020年7月号)，pp28-29, 2020.7
- 84 中北英一：第3回「2～4℃の気温上昇に備える浸水想定を」，連載「後悔しない地球温暖化適応 ~”順応的”適応策の推進」，隔月誌「地球温暖化」，日報ビジネス社，No.69 (2020年9月号)，pp32-33, 2020.9
- 85 中北英一：「近年の豪雨災害と気候変動への適応」，特集「気候変動により激甚化する水災害への適応」，国造りと研修，(財)全国建設研修センター，Vol.144, pp.16-19, 2020.11.
- 86 中北英一：第4回「地球温暖化としての流域治水」，連載「後悔しない地球温暖化適応 ~”順応的”適応策の推進」，隔月誌「地球温暖化」，日報ビジネス社，No.70 (2020年11月号)，pp26-27, 2020.11..
- 87 中北英一：「アンサンブル予測の持つ意味と役割」，連載企画「気候変動下の降雨評価におけるアンサンブル手法の役割 ~今後の治水対策の強化に向けて~」，河川，(社)日本河川協会，第76巻，第12号，pp.2-6, 2020.12.
- 88 中北英一：「豪雨災害と気候変動への適応」，学術会報，No.947(2021-II)，pp.2-7, 2021.2.
- 89 中北英一：第5回「防災分野以外の地球温暖化適応」，連載「後悔しない地球温暖化適応 ~”順応的”適応策の推進」，隔月誌「地球温暖化」，日報ビジネス社，No.71 (2021年1月号)，pp14-15, 2021.1.
- 90 中北英一：第6回「忍び寄る温暖化影響 ~科学の継承を捉えて」，連載「後悔しない地球温暖化適応 ~”順応的”適応策の推進」，隔月誌「地球温暖化」，日報ビジネス社，No.72 (2021年3月号)，pp34-35, 2021.3.
- 91 中北英一・小坂田ゆかり・呉 映昕：「気候変動とその影響」，特集：これからの土砂災害対策～砂防の近未来～，河川，(社)日本河川協会，第77巻，第5号，pp.8-12, 2021.5.

- 92 中北英一：第7回「温暖化適応としての緩和 ～2年目を迎えて」、連載「後悔しない地球温暖化適応 ～”順応的”適応策の推進」、隔月誌「地球温暖化」、日報ビジネス社, No.73 (2021年5月号), pp26-27, 2021.5.
- 93 中北英一：第8回「第2のパラダイムシフト, ～“科学的将来予測”を将来計画立案に」、連載「後悔しない地球温暖化適応 ～”順応的”適応策の推進」、隔月誌「地球温暖化」、日報ビジネス社, No.74 (2021年7月号), pp26-27, 2021.7.
- 94 中北英一：第9回「梅雨豪雨は温暖化でどうなるのか?～将来予測をベースにして」、連載「後悔しない地球温暖化適応 ～”順応的”適応策の推進」、隔月誌「地球温暖化」、日報ビジネス社, No.75 (2021年9月号), pp28-29, 2021.9.
- 95 小林憂三, 中北英一, 竹見哲也, 大津留恭延, 安部智彦, 「水力発電ダムにおける気候変動を考慮した洪水リスク評価に向けた可能最大降水量の推定に関する基礎検討」、ICOLDフランスマルセイユシンポジウム投稿論文, 大ダム, 日本大ダム会議, No.257 (2021年10号), pp.63-72, 2021.10.
- 96 中北英一：第10回「田んぼダムによる流域治水～気候変動適応への治水と農業の共存」、連載「後悔しない地球温暖化適応 ～”順応的”適応策の推進」、隔月誌「地球温暖化」、日報ビジネス社, No.76 (2021年11月号), pp18-19, 2021.11.
- 97 中北英一：気候変動による豪雨災害への影響と後悔しない適応, エコひょうご冬号 (101号), ひょうご環境創造協会, 2021年12月10日.
- 98 中北英一：第11回「まだまだ高くない気候変動への適応意識～鉄道を例に考える」、連載「後悔しない地球温暖化適応 ～”順応的”適応策の推進」、隔月誌「地球温暖化」、日報ビジネス社, No.77 (2022年12号), pp28-29, 2022.1.
- 99 中北英一：「球磨川豪雨災害」、世界気象カレンダー2022, 情報印刷株式会社, 一般財団法人日本気象協会, 2022.1.
- 100 中北英一：第12回「緩和が成功しても適応は長期的に必要なである」、連載「後悔しない地球温暖化適応 ～”順応的”適応策の推進」、隔月誌「地球温暖化」、日報ビジネス社, No.78 (2022年3月号), pp26-2第65巻7, 2022.3.
- 101 中北英一：「地球温暖化と後悔しない適応, そして鉄道」、日本鉄道施設協会誌, 2022年6月号, pp?-?, 2022.6.
- 102 中北英一：「続く高温, 極端な豪雨は日本の「日常」となったのか」、特集「夏の最大リスク「高温・豪」に備える—第3次学校安全推進計画を踏まえた減災策は」、教職研修, pp.88-89, 2022.6.
- 103 中北英一：「気候変動影響将来予測と治水目標の見直し」、特集「流域治水」、土木学会誌, 第107巻, 第6号, pp.22-25, 2022.6.
- 104 中北英一：「気候変動に関するシナリオを踏まえた治水計画」、用水と排水, 第65巻1月号, 2022.12.
- 105 中北英一：「企業と地球温暖化, TCFDと流域治水」、巻頭言, 河川, 5月号, pp.2-3, 2023.5.
- 106 中北英一：「地球温暖化と豪雨」、特集, 森林科学, 102, pp.2-5, 2024.

防災研究所年報

- 1 高棹琢馬・椎葉充晴・中北英一：レーダ雨量計による短時間降雨予測の検討, 京都大学防災研究所年報, 第26号B-2, pp.165-180, 1983.
- 2 中北英一・高棹琢馬・椎葉充晴：河道網系 Kinematic Wave モデルの集中化, 京都大学防災研究所年報, 第29号B-2, pp.217-232, 1986.
- 3 中北英一・筒井雅行・池淵周一・高棹琢馬：3次元レーダー雨量計情報の利用に関する基礎的研究, 京都大学防災研究所年報, 第30号B-2, pp.265-282, 1987.
- 4 中北英一・椎葉充晴・池淵周一・高棹琢馬：3次元レーダー雨量計情報の利用に関する基礎的研究(II), 京都大学防災研究所年報, 第31号B-2, pp.231-240, 1988.
- 5 中北英一・筒井雅行・池淵周一・高棹琢馬：降雨分布特性の気象力学的解析, 京都大学防災研究所年報, 第31号B-2, pp.209-229, 1988.
- 6 中北英一・椎葉充晴・池淵周一・高棹琢馬：3次元レーダー雨量計情報の利用に関する基礎的研究(III), 京都大学防災研究所年報, 第32号B-2, pp.351-361, 1989.
- 7 中北英一・村田 啓・池淵周一・高棹琢馬：不安定場のモデル化と降雨分布の再現, 京都大学防災研究所年報, 第32号B-2, pp.337-350, 1989.
- 8 中北英一・山浦克仁・椎葉充晴・池淵周一・高棹琢馬：3次元レーダー情報を用いた降雨正規場の推定と降雨予測手法の開発, 京都大学防災研究所年報, 第33号B-2, pp.193-212, 1990.
- 9 中北英一・田中 実：3次元レーダー情報を用いた水蒸気相変化量の推定と3次元風速の同時推定手法, 京都大学防災研究所年報, 第34号B-2, pp.145-161, 1991.
- 10 中北英一・澤田典靖・川崎隆行・池淵周一・高棹琢馬：不安定場モデルをベースにした3次元レーダー情報による短時間降雨予測手法, 京都大学防災研究所年報, 第35号B-2, pp.483-507, 1992.
- 11 中北英一・村田憲泰：3次元レーダー情報を用いた広域3次元風速場の推定, 京都大学防災研究所年報,

- 第36号B-2, pp.173-188, 1993.
- 12 中北英一・足立琢也・池淵周一：地表面フラックスが降水分布に及ぼす影響に関する基礎的解析，京都大学防災研究所年報，第37号B-2, pp.235-252, 1994.
 - 13 中北英一・村田憲泰・藤吉康志・池淵周一：1台のドップラーレーダーによるエコー強度およびドップラー速度情報を用いた3次元風速推定手法の開発，京都大学防災研究所年報，第37号B-2, pp.209-234, 1993.
 - 14 大石 哲・木谷有吾・中北英一・池淵周一・高橋 劭：強制上昇流が局地降雨に与える影響に関する考察，京都大学防災研究所年報，第37号B-2, pp.281-298, 1994.
 - 15 中北英一・中川勝広・池淵周一・Baxter E. Vieux・高棹琢馬：雨滴粒径分布の鉛直プロファイルを利用したレーダー雨量推定手法の構築，京都大学防災研究所年報，第38号B-2, pp.291-302, 1995.
 - 16 矢島 啓・辻 基宏・池淵周一・中北英一：短時間降雨の可能最大降水量（PMP）推定手法に関する基礎的研究，京都大学防災研究所年報，第38号B-2, pp.333-348, 1995.
 - 17 中北英一・菅原竜也・岡田憲夫・池淵周一：降雨の時空間分布特性の地形依存性，京都大学防災研究所年報，第39号B-2, pp.235-250, 1996.
 - 18 大石 哲・木谷有吾・中北英一・池淵周一：豪雨の生起・発達に地形が及ぼす影響に関する数値実験的研究，京都大学防災研究所年報，第39号B-2, pp.251-270, 1996.
 - 19 矢島 啓・池淵周一・中北英一：大阪湾周辺における夏期の降雨生起特性，京都大学防災研究所年報，第39号B-2, pp.271-284, 1996.
 - 20 田中賢治・大石 哲・中北英一・池淵周一：琵琶湖プロジェクト'95における大気境界層観測，京都大学防災研究所年報，第39号B-2, pp.285-300, 1996.
 - 21 中川勝広・中北英一・佐藤 亨・池淵周一：雨滴粒径分布の鉛直構造の定式化，京都大学防災研究所年報，第39号B-2, pp.301-320, 1996.
 - 22 中北英一・菅原竜也・岡田憲夫・池淵周一：時間スケールに依存した地形-降雨分布特性，京都大学防災研究所年報，第40号B-2, pp.275-287, 1997.
 - 23 中北英一・杉本聡一郎・池淵周一，高棹琢馬：降雨の概念モデル（不安定場モデル）によるレーダーを用いた短時間予測の精度向上，京都大学防災研究所年報，第40号B-2, pp.289-305, 1997.
 - 24 中川勝広・中北英一・佐藤 亨・池淵周一：降雨成因を考慮した雨滴粒径分布の鉛直構造，京都大学防災研究所年報，第40号B-2, pp.263-274, 1997.
 - 25 辻 基宏・大石 哲・中北英一・池淵周一：狭域・短時間の可能最大降水量（PMP）推定手法に関する研究，京都大学防災研究所年報，第40号B-2, pp.245-262, 1997.
 - 26 大石 哲・高橋輝明・中北英一・池淵周一：積雲モデルを用いた梅雨前線帯降雨に対する地形の影響の評価，京都大学防災研究所年報，第40号B-2, pp.307-322, 1997.
 - 27 中北英一・藤井孝成・三宅且人・山路昭彦・池淵周一：3次元レーダーを用いた降雨予測手法へのLFCモデルの導入に関する基礎的検討，京都大学防災研究所年報，第41号B-2, pp.155-170, 1998.
 - 28 中川勝広・中北英一・佐藤 亨・池淵周一：雨滴粒径分布の鉛直構造解析とレーダーによる降雨量推定手法の構築，京都大学防災研究所年報，第41号B-2, pp.171-180, 1998.
 - 29 中北英一・矢神卓也・池淵周一：東北豪雨の生起特性，京都大学防災研究所年報，第42号B-2, pp.153-168, 1999.
 - 30 大石 哲・扇田尚紀・中北英一・池淵周一・島田誠一：境界層内水蒸気がGPS大気遅延量に与える影響に関する研究，京都大学防災研究所年報，第42号B-2, pp.141-151, 1999.
 - 31 宝 馨・今本博健・林 泰一・中北英一・市川 温・端野典平・中村行雄，1998年那珂川流域における豪雨・洪水災害について，京都大学防災研究所年報，第42号B-2, pp.235-253, 1999.
 - 32 中北英一・鈴木善晴・池淵周一：降雨場の地形依存特性に関する基礎的研究，京都大学防災研究所年報，第43号B-2, pp.117-136, 2000.
 - 33 中北英一・長澤光弥・池淵周一：降雨-蒸発過程における長期観測情報の面代表性に関する一考察，京都大学防災研究所年報，第43号B-2, pp.137-152, 2000.
 - 34 大石 哲・亀岡知志・中北英一・池淵周一・島田誠一：GPSと雲解像モデルを用いた梅雨期におけるメソスケール水蒸気動態解明に関する研究，京都大学防災研究所年報，第43号B-2, pp.153-166, 2000.
 - 35 鈴木善晴，諸橋真琴，中北英一，池淵周一：3次元構造を考慮した降雨場の地形依存特性の解析，京都大学防災研究所年報，第44号B-2, pp.375-393, 2001.
 - 36 田中賢治・石岡賢治・中北英一・池淵周一：水田・湖面における熱収支の季節変化 -琵琶湖プロジェクトより-，京都大学防災研究所年報，第44号B-2, pp.427-443, 2001.
 - 37 田中賢治・相馬一義・中北英一・池淵周一：ARPSによる琵琶湖プロジェクト集中観測時の大気場の再現，京都大学防災研究所年報，第45号B, pp.657-676, 2002.
 - 38 中北英一・沖村俊郎・鈴木善晴・池淵周一：降雨の地形依存特性を考慮したTRMM/PR長期観測情報の有効利用，京都大学防災研究所年報，第45号B, pp.687-704, 2002.
 - 39 鈴木善晴・宮田昇平・中北英一・池淵周一：メソ気象モデルを用いた降雨場の時間積分過程の解析，京都大学防災研究所年報，第45号B, pp.765-784, 2002.
 - 40 相馬一義・田中賢治・中北英一・池淵周一：ARPSによる琵琶湖プロジェクト集中観測時の大気場の再現

- (第二報), 京都大学防災研究所年報, 第47号B, pp.831-850, 2004.
- 41 相馬一義・田中賢治・中北英一・池淵周一: 夏季の琵琶湖周辺における対流性降水に地表面状態が与える影響の検討, 第48号B, pp.815-822, 2005.
 - 42 浜口俊雄・川久保愛太・小尻利治・Sina Naosouhi・中北英一: 広大な乾燥地帯を対象とした表面流・地下水流練成解析の問題点と打開策, 京都大学防災研究所年報, 第48号B, pp.823-832, 2005.
 - 43 中北英一・竹畑栄伸・中川勝広: 最新型二偏波ドップラーレーダーを用いた降水量推定精度の向上, 京都大学防災研究所年報, 第49号B, pp.533-542, 2006.
 - 44 城戸由能・斎藤慶司・中北英一: 都市域の大気汚染由来汚濁物質の堆積と流出, 京都大学防災研究所年報, 第49号B, pp.543-550, 2006.
 - 45 45 水資源の保全, 第49号B, pp.551-560, 2006.
 - 46 浜口俊雄・小尻利治・中北英一: 地球統計学的な疑似生成観測値の利用によるパラメータの空間分布同定, 第49号B, pp.633-640, 2006.
 - 47 中北英一・松田周吾: 浸食過程を考慮した模擬流域発生手法と流域地形量-降雨・流出特性に関する基礎的研究-, 京都大学防災研究所年報, 第50号B, pp.549-568, 2007.
 - 48 山口弘誠・中北英一: E n K Fによるドップラーレーダー情報の同化手法の開発と概念モデルを用いた降雨予測, 京都大学防災研究所年報, 第50号B, pp.579-578, 2007.
 - 49 城戸由能・川久保愛太・井口貴正・田中幸夫・中北英一: 鴨川における河川水と地下水間の水・物質循環の解明, 京都大学防災研究所年報, 第50号B, pp.579-594, 2007.
 - 50 萬 和明・田中賢治・中北英一・池淵周一: NDVI時系列解析を用いた北タイメーション流域における高分解能作物分類とその検証, 京都大学防災研究所年報, 第50号B, pp.595-602, 2007.
 - 51 相馬一義・田中賢治・中北英一・池淵周一: 日本における土壌水分量分布推定とそれが夏季の熱雷に与える影響の検討, 京都大学防災研究所年報, 第50号B, pp.725-736, 2007.
 - 52 中北英一・山口弘誠・隅田康彦・竹畑栄伸・鈴木賢士・中川勝広・大石 哲・出世ゆかり・坪木和久: Cバンド偏波レーダーを用いた降水粒子識別とビデオゾンデを用いた集中同期検証観, 京都大学防災研究所年報, 第51号B, pp.519-534, 2008.
 - 53 中北英一・木島梨沙子: 衛星観測情報から推定する瞬時降雨量の時間相関長さのグローバル分布, 京都大学防災研究所年報, 第51号B, pp.535-548, 2008.
 - 54 山口弘誠・中北英一: 偏波レーダーデータの同化に向けたOSSEによる氷相雲物理の同化実験, 京都大学防災研究所年報, 第51号B, pp.573-580, 2008.
 - 55 Abudoureyimu, Batur・城戸由能・田中幸夫・中北英一: 新疆タリム河流域の地下水流動解析, 京都大学防災研究所年報, 第51号B, pp.581-590, 2008.
 - 56 萬 和明・田中賢治・中北英一: 陸面過程モデルによる土壌水分量推定値の季節変動・年々変動の精度評価, 京都大学防災研究所年報, 第51号B, pp.565-572, 2008.
 - 57 Kim, Sunmin, Yasuto Tachikawa, Kaoru Takara and Eiichi Nakakita: Hydrologic prediction under global warming at Tone and Yodo River Basins using the output of global 20-km mesh GCM. *Annuals of DPRI, Kyoto University*, Vol. 51, B, pp.11-20, 2008.
 - 58 奥勇一郎・Sunmin Kim・中北英一: 超高解像度全球大気モデルの温暖化予測実験データを用いた日本陸域の極端気象現象の抽出方法, 京都大学防災研究所年報, 第52号B, pp.439-444, 2009.
 - 59 中北英一・寺園正彦: 地形性降雨を考慮した移流モデルによる短時間降雨予測手法の精度向上に関する研究, 京都大学防災研究所年報, 第52号B, pp.527-538, 2009.
 - 60 山口弘誠・中北英一: 偏波気象レーダーを用いた降水粒子タイプ情報のデータ同化手法の開発, 京都大学防災研究所年報, 第52号B, pp.539-546, 2009.
 - 61 中北英一・山口弘誠・山邊洋之: レーダー情報を用いたゲリラ豪雨の卵の解析, 京都大学防災研究所年報, 第52号B, pp.547-562, 2009.
 - 62 萬和明・田中賢治・中北英一: 陸面過程モデルによる土壌水分推定精度の向上可能性, 京都大学防災研究所年報, 第52号B, pp.563-572, 2009.
 - 63 城戸由能・田中幸夫・中北英一: 京都盆地水系を対象とした地下水流動および水質解析, 京都大学防災研究所年報, 第52号B, pp.625-636, 2009.
 - 64 城戸由能・鳥井宏之・中北英一: 賀茂川水系の汚濁負荷流出過程の解析, 京都大学防災研究所年報, 第52号B, pp.607-624, 2009.
 - 65 佐藤嘉展・森英祐・浜口俊雄・田中賢治・小尻利治・中北英一: 気候変動に対する先行適応のための流域スケールでの洪水および渇水災害リスク評価, 第52号B, pp.573-586, 2009.
 - 66 Kim, Sunmin, Yasuto Tachikawa, Eiichi Nakakita and Kaoru Takara: Climate change impacts on water resources management in the Tone River Basin, *Annuals of DPRI, Kyoto University*, Vol. 52, B, pp.587-606, 2009.
 - 67 山敷庸亮・寶馨・中北英一・加藤真人: 琵琶湖統合水質モデルを用いた気候変動影響評価に関する研究, 京都大学防災研究所年報, 第53号B, pp.123-128, 2010.
 - 68 奥勇一郎・吉野純・石川裕彦・竹見哲也・中北英一: 将来の極端台風の複数経路計算による可能最大被害予測, 京都大学防災研究所年報, 第53号B, pp.371-376, 2010.

- 69 中北英一・隅田康彦・山口弘誠・鈴木賢士・中川勝広・川村誠治：最新型偏波レーダーを用いた氷相降水粒子タイプの混在状態推定に関する研究，京都大学防災研究所年報，第53号B, pp.433-446, 2010.
- 70 中北英一・吉開朋弘・Sunmin Kim：地形性降雨を考慮したレーダー短時間降雨予測へのエラーアンサンブルの導入，京都大学防災研究所年報，第53号B, pp.447-458, 2010.
- 71 Kim, Sunmin and Eiichi Nakakita：Reproducibility of AGCM20 precipitation output and Its dependency on topography, *Annuals of DPRI, Kyoto University*, Vol. 53, B, pp.459-466, 2010.
- 72 中北英一・杉谷祐二：地形発達過程と流域地形則との関係に関する研究，京都大学防災研究所年報，第53号B, pp.467-482, 2010.
- 73 Abudoureyimu, Batur・城戸由能・栗津進吾・中北英一：京都盆地水系における地下水水質の空間特性の解析とその経年変化，京都大学防災研究所年報，第53号B, pp.483-494, 2010.
- 74 城戸由能・栗津進吾・バトルアブドレイム・鳥井宏之・中北英一：京都盆地水系における表流水ー地下水間の水・物質収支に関する観測調査，京都大学防災研究所年報，第53号B, pp.495-506, 2010.
- 75 佐藤嘉展・道広有理・鈴木靖・中北英一・小尻利治：気候変動に伴う木曾三川流域の流況予測，京都大学防災研究所年報，第53号B, pp.723-736, 2010.
- 76 奥 勇一郎・中北英一，全球大気モデルによる土砂災害関連指標降雨の将来変化，京都大学防災研究所年報，第54号B, pp.311-317, 2011.
- 77 山口弘誠・中北英一・古本淳一，水蒸気量の鉛直分布のデータ同化による降水予測精度へのインパクト評価，京都大学防災研究所年報，第54号B, pp.375-380, 2011.
- 78 中北英一・山邊洋之・山口弘誠，XバンドMPレーダーを用いたゲリラ豪雨の早期探知と追跡，京都大学防災研究所年報，第54号B, pp.381-396, 2011.
- 79 中北英一・金原知穂・山口弘誠，Xバンド偏波レーダーによる雨滴粒径分布の時空間構造の推定と非偏波レーダーへの利用，京都大学防災研究所年報，第54号B, pp.397-410, 2011.
- 80 中北英一・宮宅敏哉・Kyoungjun KIM・木島梨沙子，気候変動に伴う我が国の集中豪雨の将来変化に関する基礎的検討，京都大学防災研究所年報，第54号B, pp.411-420, 2011.
- 81 鳥井宏之・城戸由能・中北英一，降雨予測誤差を考慮した雨水貯留施設の制御戦略に関する研究，京都大学防災研究所年報，第54号B, pp.431-448, 2011.
- 82 バトル アブドレイム・城戸由能・栗津進吾・中北英一，京都盆地における地下水汚染シミュレーション解析 —平面二次元と準三次元解析による汚染影響評価—，京都大学防災研究所年報，第54号B, pp.449-456, 2011.
- 83 栗津進吾・城戸由能・バトル アブドレイム・中北英一，京都盆地水系における表流水 —地下水間の水・物質収支に関する観測調査と解析—，京都大学防災研究所年報，第54号B, pp.457-464, 2011.
- 84 小林健一郎・奥勇一郎・寶 馨・石川裕彦・竹見哲也・中北英一，物理ダウンスケール法による極端台風を用いた淀川流域の洪水評価，京都大学防災研究所年報，第55号B, pp.9-14, 2012.
- 85 Apip, Kaoru Takara, Kenichiro Kobayashi, Yosuke Yamashiki, and Eiichi Nakakita, Simulating potential impacts of climate change on sediment production and shallow landslide in western Japan, *Annuals of DPRI, Kyoto University*, Vol. 55, B, pp.49-56, 2012.
- 86 中北英一・吉開朋弘・キム スンミン，地形性降雨を考慮したレーダー短時間降雨予測へのエラーアンサンブルの導入(II)，京都大学防災研究所年報，第55号B, pp.305-317, 2012.
- 87 中北英一・西脇隆太・山口弘誠，ドップラー風速を用いたゲリラ豪雨のタマゴの危険性予知に関する研究，京都大学防災研究所年報，第55号B, pp.319-329, 2012.
- 88 城戸由能・北側有輝・中北英一，京都盆地水系における地下水環境への気候変動影響の定量的評価 —MRI-AGCM2.3sを用いた気候変動影響評価—，京都大学防災研究所年報，第56号B, pp.361-368, 2013.
- 89 山口弘誠・古田康平・中北英一，偏波レーダーから推定した定性的降水粒子情報の雲アンサンブル同化，京都大学防災研究所年報，第56号B, pp.369-377, 2013.
- 90 Yoon, Seongsim and Eiichi NAKAKITA, A study on the development of the rain-based urban flood forecasting method with X-MP radar in Toga River Basin, *Annuals of DPRI, Kyoto University*, Vol.56, B, pp.379-389, 2013.
- 91 Yu, Wansik, Eiichi Nakakita and Kosei Yamaguchi, Assessment of high-resolution ensemble NWP rainfall for flood forecast of relative large river basin in Japan, *Annuals of DPRI, Kyoto University*, Vol.56, B, pp.391-399, 2013.
- 92 峠 嘉哉・田中賢治・中北英一，陸面過程による農業水使用量とアラル海の消長に関する応答分析，京都大学防災研究所年報，第56号B, pp.401-406, 2013.
- 93 中北英一・宮宅敏哉，領域気候モデルを用いた気候変動に伴う梅雨期集中豪雨の将来変化予測に関する研究，京都大学防災研究所年報，第56号B, pp.407-440, 2013.
- 94 城戸由能・佐藤 豪・中北英一，雨水貯留施設の実時間制御におけるレーダー降水量予測情報の活用方策に関する研究，京都大学防災研究所年報，第57号B, pp.260-278, 2014.
- 95 峠 嘉哉・田中賢治・中北英一，陸面過程モデルによるカスピ海流域における水収支の再現，京都大学防災研究所年報，第57号B, pp.279-285, 2014.
- 96 中北英一・西脇隆太・山口弘誠，ゲリラ豪雨の早期探知と危険性予測システムの開発とさらなる高度化に関する研究，京都大学防災研究所年報，第57号B, pp.286-298, 2014.

- 97 中北英一・草野晴香・キムスンミン, 60kmAGCMアンサンブルを用いた気候変動に伴う集中豪雨発生要因となる大気場特性の将来予測, 京都大学防災研究所年報, 第57号B, pp.299-313, 2014.
- 98 山口弘誠・金原知穂・中北英一, Xバンド偏波レーダーを用いて推定した雨滴粒径分布の時空間構造, 京都大学防災研究所年報, 第57号B, pp.314-327, 2014.
- 99 山口弘誠・高見和弥・中北英一, 都市気象LESモデルの開発による豪雨の「種」を捉えるための基礎研究, 京都大学防災研究所年報, 第57号B, pp.328-338, 2014.
- 100 YU, Wansik, Eiichi NAKAKITA, Sunmin KIM and Kosei YAMAGUCHI, Ensemble Flood Forecasting Using Transposition of NWP Rainfall Fields Considering Orographic Rainfall, *Annals of DPRI, Kyoto University*, Vol.57, B, pp.339-347, 2014.
- 101 中北英一・佐藤悠人・西脇隆太・山口弘誠, ゲリラ豪雨危険性予知手法の高精度化に向けた積乱雲生成時の渦管構造の解析, 京都大学防災研究所年報, 第58号B, pp.221-231, 2015.
- 102 中北英一・山口弘誠・大石 哲・大東忠保・橋口浩之・岩井宏徳・中川勝広・相馬一義・増田有俊・小川まり子・坪木和久・鈴木賢士・川村誠治・鈴木善晴, 積乱雲の生成・発達を捉えるためのマルチセンサーによるRHI同期観測実験, 京都大学防災研究所年報, 第58号B, pp.232-236, 2015.
- 103 YU, Wansik, Eiichi NAKAKITA, Kosei YAMAGUCHI, Masaru KUNII, and Tsutao OIZUMI, Application of Flood Early Warning Using High-Resolution Ensemble Rainfall from Numerical Weather Prediction Model: Case Study of the 2013 Largest Flood Event in Japan, *Annals of DPRI, Kyoto University*, Vol.58, B, pp.337-345, 2015.
- 104 城戸由能・神田亜希子・峠 嘉哉・北側有輝・中北英一, インドネシア・中央カリマンタン熱帯泥炭湿地林における地下水流動解析, 京都大学防災研究所年報, 第58号B, pp.246-256, 2015.
- 105 北側有輝・城戸由能・中北英一, 地下水環境への気候変動影響のアンサンブル評価に関する研究, 京都大学防災研究所年報, 第58号B, pp.257-265, 2015.
- 106 峠 嘉哉・田中賢治・中北英一, 山岳域の陸面解析における雪氷融解プロセスに関する検討, 京都大学防災研究所年報, 第58号B, pp.266-271, 2015.
- 107 大石 哲・山口弘誠・小川まり子・中 大輔・林 和成・中北英一, GNSSによる湾上および山岳域における水蒸気分布と豪雨に関する研究, 京都大学防災研究所年報, 第58号B, pp.294-304, 2015.
- 108 中北英一・森元啓太郎・峠嘉哉・草野晴香・佐藤悠人, RCM5を用いたゲリラ豪雨をもたらす大気場の出現頻度の将来変化の推定, 京都大学防災研究所年報, 第59号B, pp.222-229, 2016.
- 109 中北英一・草野晴香・峠嘉哉・Sunmin KIM, AGCMアンサンブルを用いた梅雨期集中豪雨の大気場特性の出現頻度に関する将来変化, 京都大学防災研究所年報, 第59号B, pp.230-248, 2016.
- 110 中北英一・佐藤悠人・山口誠弘, ゲリラ豪雨をもたらす積乱雲初期における鉛直渦管形成の解析, 京都大学防災研究所年報, 第59号B, pp.249-255, 2016.
- 111 山口弘誠・高見和弥・井上実・須崎純一・相馬一義・中北英一, 豪雨の「種」を捉えるための都市気象LESモデルの開発と積雲の生成に関する研究, 京都大学防災研究所年報, 第59号B, pp.256-297, 2016.
- 112 山口弘誠・古田康平・中北英一, 偏波ドップラーレーダの同化によるメソ対流系の降水予測精度向上に関する研究, 京都大学防災研究所年報, 第59号B, pp.298-322, 2016.
- 113 佐藤豪・城戸由龍・中北英一, 降雨予測情報を活用した雨水貯留施設の実時間制御による浸水防止と汚濁負荷削減, 京都大学防災研究所年報, 第59号B, pp.323-359, 2016.
- 114 峠 嘉哉・田中賢治・Timur KHUJANAZAROV・中北英一, 中央アジア乾燥地自然植生の生理パラメータに関する検討, 京都大学防災研究所年報, 第59号B, pp.360-366, 2016.
- 115 東俊孝・山口弘誠・中北英一, 数値シミュレーション結果に基づいた車両走行時の降雨強度推定手法の開発, 京都大学防災研究所年報, 第60号B, pp.531-538, 2017.
- 116 中北英一・佐藤悠人・山口弘誠, ゲリラ豪雨予測の高精度化に向けた積乱雲の鉛直渦管生成メカニズムに関する研究, 京都大学防災研究所年報, 第60号B, pp.539-558, 2017.
- 117 中北英一・新保友啓・佐藤悠人・山口弘誠・大東忠保・篠田太郎・坪木和久, Kaバンド偏波レーダによるマルチパラメータ情報を利用した積乱雲発生 of 基礎的解析, 京都大学防災研究所年報, 第60号B, pp.559-575, 2017.
- 118 IHARJUPA, Wendi, Eiichi NAKAKITA, Yasuhiko SUMIDA and Kosei YAMAGUCHI, Preliminary Investigation of Generation of Guerilla-Heavy Rainfall Using Himawari-8 and XRAIN Information in Kinki Region, *Annals of DPRI, Kyoto University*, Vol.60, B, pp.576-583, 2017.
- 119 山口弘誠・土橋知紘・中北英一・高見和弥, 都市気象LESモデルを用いたゲリラ豪雨の種の解析, 京都大学防災研究所年報, 第60号B, pp.584-598, 2017.
- 120 山口弘誠・上嶋一樹・堀池洋祐・中北英一, ひまわり8号などのマルチセンサー観測のデータ同化によるゲリラ豪雨予測, 京都大学防災研究所年報, 第60号B, pp.599-614, 2017.
- 121 山口弘誠・堀池洋祐・中北英一, XRAINのアンサンブル同化によるメソ対流系発生時における大気中下層の解析, 京都大学防災研究所年報, 第60号B, pp.615-621, 2017.
- 122 中北英一・小坂田ゆかり, SOMマップの組み合わせによる梅雨期集中豪雨をもたらす大気場の発生頻度の将来変化解析, 京都大学防災研究所年報, 第60号B, pp.622-637, 2017.
- 123 神田亜希子・城戸由能・中北英一・峠嘉哉・平野高司, 熱帯泥炭湿地林域の地下水環境へ及ぼす気候変動

- の影響評価と排水路管理方策の検討, 京都大学防災研究所年報, 第60号B, pp.638-653, 2017.
- 124 WU, Ying-Hsin and Eiichi NAKAKITA, A New Method of Stress Analysis in Hillslopes Considering Vegetation Effects Using Poroelasticity, *Annals of DPRI, Kyoto University*, Vol.60, B, pp.654-663, 2017.
- 125 中北英一・橋本郷志・森元啓太郎・小坂田ゆかり:ゲリラ豪雨の生起頻度へ大気安定度及び水蒸気流入量の気候変動に伴う将来変化が及ぼす影響, 京都大学防災研究所年報, 第61号B, pp.429-447, 2018.
- 126 山口弘誠・小西大・土橋知紘・中北英一・山本真之・川村誠治・雨谷 純・杉谷茂夫・大東忠保・小川まり子:都市気象LES モデルと境界層レーダーを用いた大気境界層を突破する熱的上昇流の発見, 京都大学防災研究所年報, 第61号B, pp.448-478, 2018.
- 127 中北英一・森元啓太郎・野坂真也:マルチ解像度RCMにおけるゲリラ豪雨の再現特性の解析及び生起頻度の将来変化推定, 京都大学防災研究所年報, 第61号B, pp.479-499, 2018.
- 128 HARJUPA, Wendi, Eiichi NAKAKITA, Yasuhiko SUMIDA and Aritoshi MASUDA: Investigation of Relationship between RDCA Index Using Himawari-8 Data and Radar Estimated Hydrometeor Type aloft Considering the Stage of Cumulus Cloud, *Vol.61, B*, pp.500-508, 2018.
- 129 中北英一・小坂田ゆかり: 領域気候モデルとd4PDFを用いた梅雨豪雨の将来変化に関するマルチスケール解析, 京都大学防災研究所年報, 第61号B, pp.597-532, 2018.
- 130 山口弘誠・堀池洋祐・中北英一: 融解層高度以上の降水粒子の同化による線状降水帯の予測及び支配スケールの解析, 京都大学防災研究所年報, 第61号B, pp.533-554, 2018.
- 131 大東忠保・中北英一・山口弘誠・坪木和久: 夏季積乱雲発達初期の雲レーダー観測, 京都大学防災研究所年報, 第61号B, pp.597-532, 2018.
- 132 WU, Ying-Hsin and Eiichi NAKAKITA, A Transient Model for Shallow Groundwater Table Evolution in an Unconfined Sloping Aquifer Considering Variable Rainfall Recharge, *Annals of DPRI, Kyoto University*, Vol.61, B, pp.572-581, 2018.
- 133 中北英一・新保友啓・大東忠保・山口弘誠, Kaバンド雲レーダー等のマルチセンサーで捉えた積乱雲の生成・発達過程, 京都大学防災研究所年報, 第62号B, pp.399-431, 2019.
- 134 中北英一・高尾充政・新保友啓・山口弘誠・中川勝広, フェーズドアレイレーダを用いたゲリラ豪雨発達初期の積乱雲詳細解析, 京都大学防災研究所年報, 第62号B, pp.432-440, 2019.
- 135 山口弘誠・上嶋一樹・堀池洋祐・中北英一, 積乱雲発達初期の雲情報データ同化によるゲリラ豪雨予測, 京都大学防災研究所年報, 第62号B, pp.441-467, 2019.
- 136 山口弘誠・土橋知紘・中北英一, 都市気象LESモデルを用いた渦管形成とその起源となる熱的上昇流の解析, 京都大学防災研究所年報, 第62号B, pp.468-492, 2019.
- 137 山口弘誠・小西大・土橋知紘・中北英一, 都市気象LESモデルを用いた大気境界層を突破する熱的上昇流の発見と渦管解析, 京都大学防災研究所年報, 第62号B, pp.493-532, 2019.
- 138 山口弘誠・黒田奈那・中北英一, 線状降水帯豪雨予測に向けた水蒸気のアンサンブル予測情報の更新履歴解析, 京都大学防災研究所年報, 第62号B, pp.533-544, 2019.
- 139 WU, Ying-Hsin and Eiichi NAKAKITA, Landslide Hazard Assessment in Western Japan Using Logistic Regression Analysis with Hydrometeorological Factors, *Annals of DPRI, Kyoto University*, Vol.62, B, pp.545-553, 2019.
- 140 HARJUPA, Wendi, Eiichi NAKAKITA, Yasuhiko SUMIDA and Aritoshi MASUDA, The Utilization of Rapid Scan Observation Data through Rapid Development Cumulus Area Index to Estimate Updraft, *Annals of DPRI, Kyoto University*, Vol.62, B, pp.554-559, 2019.
- 141 小坂田ゆかり・中北英一, 2018年7月豪雨の異常さと地球温暖化による影響評価, 京都大学防災研究所年報, 第62号B, pp.560-568, 2019.
- 142 山口弘誠・千賀幹太・中北英一, 都市気象LESモデルを用いた豪雨の種となる熱的上昇流と渦管の組織化の解明, 京都大学防災研究所年報, 第63号B, pp.190-205, 2020.
- 143 NUGROHO, Ginaldi Ari, Kosei YAMAGUCHI, Eiichi NAKAKITA, Masayuki YAMAMOTO and Seiji KAWAMURA, High Thermal and Interaction with Convective Cloud Based from Boundary Layer Radar, Himawari-8 and Time Lapse Camera Observation (Case Study: 11 September 2018), *Annals of DPRI, Kyoto University*, Vol.63, B, pp.209-216, 2020.
- 144 高見和弥・佐藤亮太・鈴木賢士・山口弘誠・中北英一, XRAINを用いた冬期の0°C高度の推定手法に関する検討, 京都大学防災研究所年報, 第63号B, pp.217-226, 2020.
- 145 小坂田ゆかり・中北英一, 2012年亀岡豪雨の擬似温暖化実験における線状対流系の将来変化と解像度依存性に関する解析, 京都大学防災研究所年報, 第63号B, pp.233-240, 2020.
- 146 中北英一・橋本郷志・小坂田ゆかり, 気候変動に伴う大気安定化と水蒸気浸潤がゲリラ豪雨の特性に及ぼす影響, 京都大学防災研究所年報, 第63号B, pp.241-271, 2020.
- 147 WU, Ying-Hsin, Eiichi NAKAKITA and Masaru KUNITOMO, Risk of Rainfall-Triggered Landslide Disasters Under Climate Change by Applying Critical Line Method to NHRCM05, *Annals of DPRI, Kyoto University*, Vol.63, B, pp.272-281, 2020.
- 148 NUGROHO, Ginaldi Ari, Kosei YAMAGUCHI, Masayuki K. YAMAMOTO, Seiji KAWAMURA and Eiichi NAKAKITA, Wavelet Analysis of Thermal Activity and Cloud Initiation based on Boundary Layer Radar and Time

- Lapse Camera Observation, *Annals of DPRI, Kyoto University*, Vol.64, B, pp.145-153, 2021.
- 149 高尾充政・中北英一・山口弘誠, マルチパラメータレーダ群を用いたゲリラ豪雨ライフサイクルと渦管の統合的解析, *京都大学防災研究所年報*, 第64号B, pp.154-180, 2021.
 - 150 高見和弥・鈴木賢士・山口弘誠・中北英一, Xバンド偏波レーダーRHI観測による融解層内の偏波パラメータと降水粒子の粒径の比較に関する研究, *京都大学防災研究所年報*, 第64号B, pp.181-186, 2021.
 - 151 山口弘誠・村瀬公崇・花土弘・金丸佳矢・川村誠治・相馬一義・中北英一, 地デジ放送波とGNSSを用いた積乱雲における対流圏中層水蒸気が降水増幅に与える影響, *京都大学防災研究所年報*, 第64号B, pp.187-207, 2021.
 - 152 AHMAD, Fauziana, Kosei YAMAGUCHI and Eiichi NAKAKITA, Analysis of Cell Merging from New Cells to Multicell Formation with Dual Doppler and Vorticity Analysis, *Annals of DPRI, Kyoto University*, Vol.64, B, pp.208-216, 2021.
 - 153 KIM, Hwayeon and Eiichi NAKAKITA, Predicting the Risk Level of Guerrilla Heavy Rainfall by Using the Quantitative Risk Prediction Method with Multiple Doppler Radar Analysis, *Annals of DPRI, Kyoto University*, Vol.64, B, pp.217-226, 2021.
 - 154 中淵遥平・鈴木博人・金原知穂・遠藤理・中北英一, 列車運転規制への活用を目的とした短時間降雨予測の精度向上手法に関する研究, *京都大学防災研究所年報*, 第64号B, pp.227-236, 2021.
 - 155 山口弘誠・黒田奈那・中北英一, アンサンブル予測の更新に伴う不確実性の増幅を考慮したリアルタイム線状降水帯予測, *京都大学防災研究所年報*, 第64号B, pp.237-276, 2021.
 - 156 大野哲之・山口弘誠・中北英一, 熱的勾配が駆動する渦度場の解明とデータ同化実験, *京都大学防災研究所年報*, 第64号B, pp.277-293, 2021.
 - 157 小坂田ゆかり・中北英一, 複数温暖化シナリオに基づく線状対流系の擬似温暖化実験と影響メカニズムに関する解析, *京都大学防災研究所年報*, 第64号B, pp.327-334, 2021.
 - 158 中北英一・原田茉知・小坂田ゆかり, 150年連続ランによる梅雨期極端降雨の将来変化と段階的適応に向けた解析, *京都大学防災研究所年報*, 第64号B, pp.335-342, 2021.
 - 159 WU, Ying-Hsin, Eiichi NAKAKITA and Akihiko YAMAJI, Analysis of Future Changes of Geometric Range of Snake Lines and its Relation to Sediment Disasters in a Changing Climate, *Annals of DPRI, Kyoto University*, Vol.64, B, pp.317-326, 2021.
 - 160 KIM, Hwayeon, 前川智寧, 中北英一, ゲリラ豪雨のライフサイクル概念を考慮した定量的危険性予測手法の提案, 第65号B, pp.146-156, 2022.
 - 161 山口弘誠, 河谷能幸・中北英一, LESを用いた波動が生起する線状対流系の勃発メカニズムの解明, *京都大学防災研究所年報*, 第65号B, pp.157-172, 2022.
 - 162 NAKA, Yukari, Taiga KAMIYA and Eiichi NAKAKITA, Fundamental Research on Water Vapor Inflow Path into the Back-building Convective System and its Relationship with Atmospheric Stability, *Annals of DPRI, Kyoto University*, Vol.65, B, pp.173-188, 2022.
 - 163 WU, Ying-Hsin, Eiichi NAKAKITA and Akihiko YAMAJI, Preliminary Investigation of Change of Snake Line Pattern and the Relation between the Pattern Shape and the Extreme Rainfall in Changing Climate, *Annals of DPRI, Kyoto University*, Vol.65, B, pp.204-213, 2022.
 - 164 KIM, Hwayeon and Eiichi NAKAKITA, A Study on the Application of Flash Flood Guidance — Estimates of the flash flood occurrence potential in a warm front from the heavy rainfall in Nagasaki city, Kyushu in 2021 —, *Annals of DPRI, Kyoto University*, Vol.65, B, pp.254-260, 2022.
 - 165 AHMAD, Fauziana, Kosei YAMAGUCHI and Eiichi NAKAKITA, Investigation of Mechanisms Analysis in the Transition from Single-cell to Multicell Thunderstorms Using X-band Polarimetric Radar Observation, *Annals of DPRI, Kyoto University*, Vol.65, B, pp.261-277, 2022.
 - 166 高見和弥・竈本倫平・鈴木賢士・山口弘誠・中北英一, 新潟県における新雪密度の推定を目的とした化学的樹氷の観測, *京都大学防災研究所年報*, 第65号B, pp.278-284, 2022.
 - 167 中淵遥平・中北英一, XRAIN立体観測データを用いた地形性降雨算定手法による短時間降雨予測に関する研究, *京都大学防災研究所年報*, 第65号B, pp.285-297, 2022.
 - 168 大野哲之・山口弘誠・中北英一, 線状対流系の発生・発達におけるマルチフラクタル特性—水蒸気フラックスと降水粒子分布の観点から—, *京都大学防災研究所年報*, 第65号B, pp.298-306, 2022.
 - 169 中北英一・佐藤克哉・中淵遥平, Seeder-Feederモデル及びレーダー立体観測情報の活用による地上雨量推定手法の開発, *京都大学防災研究所年報*, 第66号B, pp.175-182, 2023.
 - 170 山口弘誠・西村太一・中北英一, 2008年神戸都賀川豪雨のLES実験と風速場操作による気象制御, *京都大学防災研究所年報*, 第66号B, pp.183-191, 2023.
 - 171 仲ゆかり・福田果奈・中北英一, メカニズム解明に向けた線状対流系過去事例群の統合的物理解析, *京都大学防災研究所年報*, 第66号B, pp.192-202, 2023.
 - 172 中淵遥平・中北英一, 地形性降雨を考慮した短時間降雨予測による列車運転規制方法に関する研究, *京都大学防災研究所年報*, 第66号B, pp.203-217, 2023.
 - 173 大野哲之・山口弘誠・中北英一, 地形に起因する線状対流系の数値標高モデル感度実験 —自己組織化構

- 造におけるマルチフラクタル的性質一, 京都大学防災研究所年報, 第66号B, pp.218-229, 2023.
- 174 山口弘誠・河谷能幸・中北英一, 豪雨発生の偶然性評価を目的としたスケール相似則モデルのLESへの適用, 京都大学防災研究所年報, 第66号B, pp.218-229, 2023.
- 175 WU, Ying-Hsin, Akihiko YAMAJI and Eiichi NAKAKITA, Characterization of Future Rainfall Prone to Sediment Hazards in a Changing Climate Using Radial-Basis Function Network: A Case Study of Rokko Mountain Area, *Annals of DPRI, Kyoto University*, Vol.66, B, pp.238-246, 2023.
- 176 中北英一・佐藤克哉, 偏波レーダー立体観測情報の活用による地形性降雨算定手法の改良, 京都大学防災研究所年報, 第67号B, pp.150-155, 2024.
- 177 YAMAGUCHI, Kosei, Shoma NISHIMURA and Eiichi NAKAKITA, Weather Modification Simulation of Line-Shaped Convective System Torrential Rainfall by Introducing Offshore Curtain, *Annals of DPRI, Kyoto University*, Vol.67, B, pp.156-167, 2024.
- 178 仲ゆかり・岡田睦巳・中北英一, 高解像度d4PDFを用いた停滞前線性線状対流系の再現性確認と将来変化予測, 京都大学防災研究所年報, 第67号B, pp.168-176, 2024.
- 179 大野哲之・山口弘誠・中北英一, 上昇流に着目した線状対流系の組織化指標と大気場のマルチフラクタル的変動, 京都大学防災研究所年報, 第67号B, pp.177-192, 2024.
- 180 河谷能幸・山口弘誠・中北英一, LESを用いた線状対流系豪雨に対する乱流による偶然性の影響評価, 京都大学防災研究所年報, 第67号B, pp.193-201, 2024.
- 181 西村太一・山口弘誠・中北英一, 豪雨制御シミュレーションにおける風速場操作の時空間的感度解析, 京都大学防災研究所年報, 第67号B, pp.202-218, 2024.
- 182 渡辺悠一郎・中北英一, 地域性に着目した短時間豪雨をもたらす降水システムに関する解析, 京都大学防災研究所年報, 第67号B, pp.219-227, 2024.